

本講義資料のご利用にあたって

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。

著作権が東京大学の教員等に帰属する著作物については、非営利かつ教育的な目的に限り複製および再配布することができます。

ご利用にあたっては、以下のクレジットを明記してください。

クレジット：

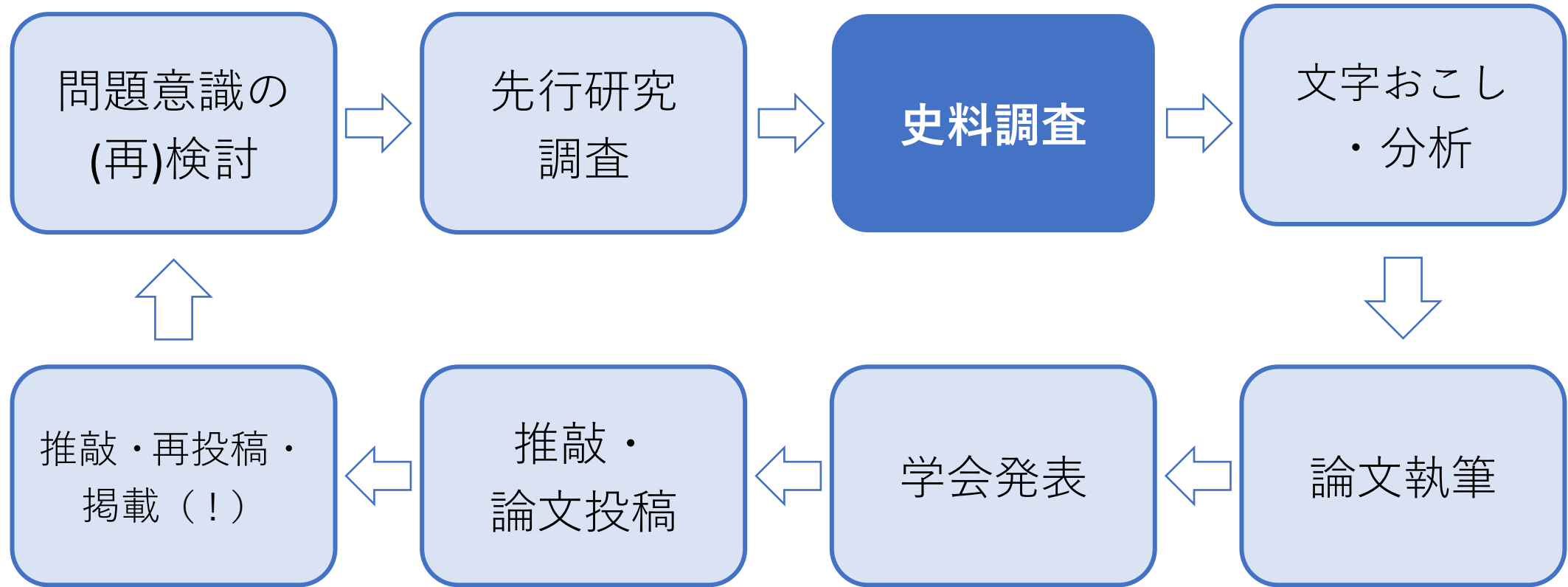
The University of Tokyo 学術フロンティア講義 2024 山本 浩司



A blue-tinted historical map with a telescope and a ship. The map shows various geographical features and labels in Latin, including 'LINDESNES', 'LITSTRIA', 'SCAGA PROVINCIA', and 'HOLLANDI'. A telescope is positioned diagonally across the upper right, and a small sailing ship is visible in the lower left. The overall theme is historical exploration and research.

そもそも、歴史研究者って
何してるの？

歴史研究のサイクル





Wren Library, Trinity College,
Cambridge

講師撮影

Old Library, Trinity College Dublin

Photo by DAVID ILIFF. License: CC BY-SA 3.0



New York Public Library

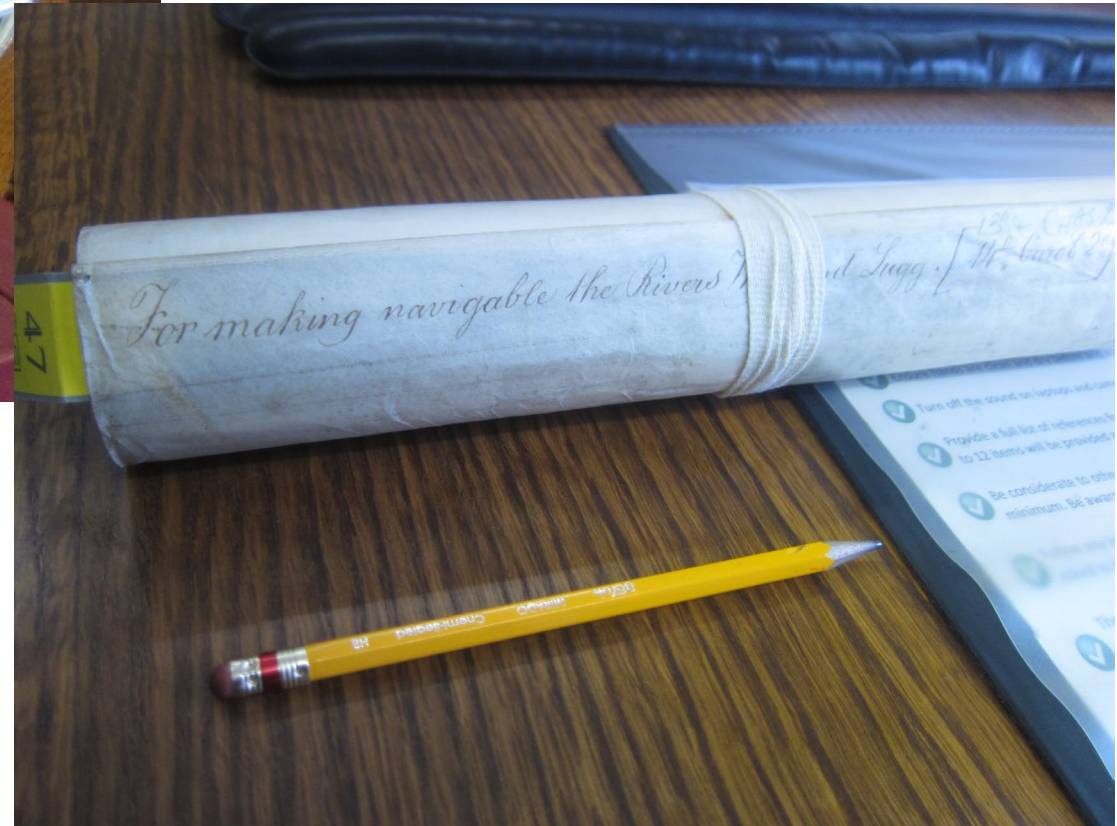


ponafotkas from Kiev, Ukraine, CC BY 2.0, via Wikimedia Commons



The National Archives, England

The National Archives UK, CC BY 3.0, via Wikimedia Commons



↑ Acts of parliament

パーチメント (=羊皮紙) を丸めた状態で保管されている

thing or things for the better convenience of all
and every the said promised for lynes wayes for
men and horse not exceeding three footes on
a side and taking away all Trees and other
impediments of hayling and towing up of boats
and other premisses or any of them, or any parte
of them from time to time and at all times
hereafter with free liberty of ingresse egress and
regresse for workemen and carriage of materials
to and from the place to be repaired as needs
shall require; And for that the making of all or
any of the said promised may not be any wayes
prejudiciall to the Inheritaunt possession or
benefit of any person or persons Inherited
Politique or Corporate whatsoever that have
any launds tenements or hereditaments made
use of for the making erecting and repairing
the aforesaid promised to the aforesaid rivers
new channells brookes or any other the promised
therunto belonging. *But* It therefore Enacted
by the Authority aforesaid that it shall not be
lawfull for the said persons soe authorized as
aforesaid or any of them or any of their
respective heires or Assignes or any of them
authorized or employed by vertue of this Act
to digg cutt carry or make any trench river or
new river, rivulet brooke, streams or watercourse
or new channell or any part of them, or maintain
or use the said Lockes, Weares or Turnpikes
opened for water, Dranes and wharfed or the
said passages wayes bridged or footwayes in
or upon the land of any person or persons body
Politique or Corporate until a full agreement
with and satisfaction to the respective Lords
Owners or Occupiers of the said launds be
had or made by the Commissioners appointed

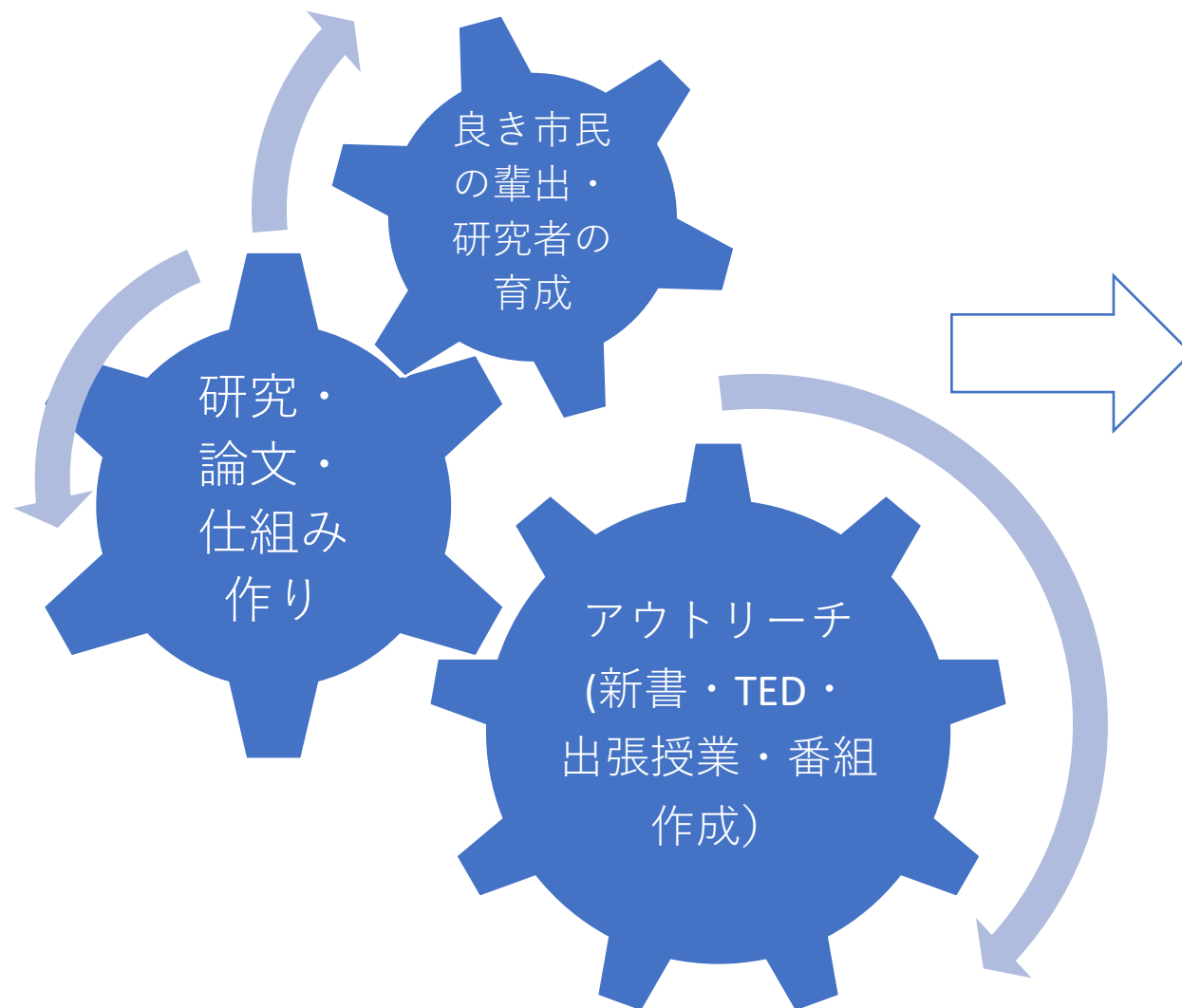
any other
said
any
major
leavy
doe, p
to or oth
to the said
pp) to determine
every or any person or persons, Bodie Politique or Cor
for or in respect of any loss or damage by them sustayn
ed by the cutting or other wayes dammyng, or their
to, by the making, Building, Erecting, setting upp, main
or wofing the said passages or Navigation or any part
said Lockes, Weares, Turnpikes, piers for water, or
and of the said passages, or footwayes in case the
person or persons authorized by them, shall not
with, and satisfy the parties soe damnified
is. And bee it further Enacted by the Authority
shall from time

of them susteyned or
the or advantages
of their lands or
any obstruction or losse that may

be susteyned by the cutting or other
or flammes, water milles, iron milles, and other milles, forges, and other
happen in pulling, roasting, or any persons, or persons whatsoever
condemned, by the making, building

虫メガネを使って行間を読む

文系研究の 社会貢献 (概略)



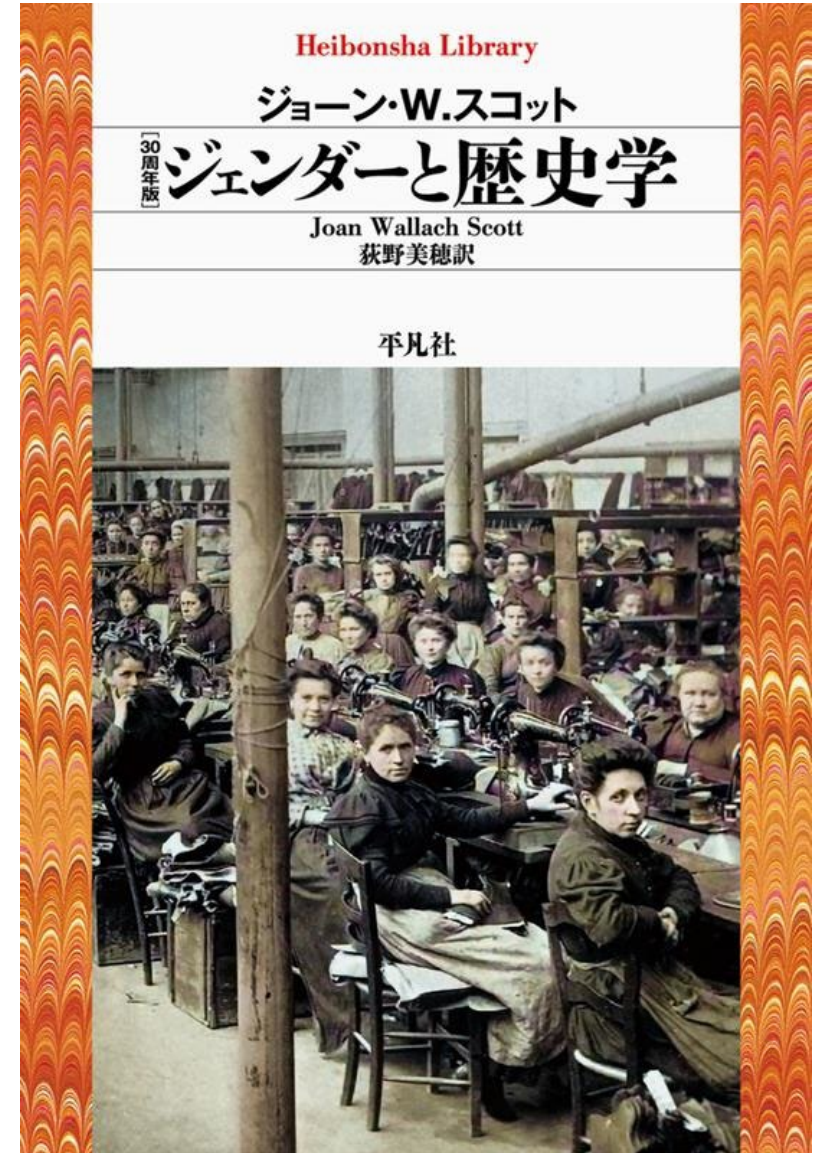
ジョーン・W・スコット

西洋世界において

「一七、一八世紀の自由主義的な政治論争の焦点として登場した、諸権利を持つ抽象的な個人は、**どういうわけか男の姿かたちをとるようになり、**歴史家たちがこれまで語ってきたのも、主として男の物語としての歴史であった。」

ジョーン・W・スコット (2022) 「ジェンダーと歴史学」 (荻野美穂 訳)
平凡社 p72 講師による強調

→ なぜだろうか？



大きな問い

近代の政治的議論が男性を中心に発展したのは、ほとんどの女性たちがその過程に関与しなかったからなのか？自身の考えを表明する能力がなかったからなのか？

あるいは、女性の貢献があつたにもかかわらず、政治思想は主に男性の権利に注目するようになったのか？

→明確な答えはない。なぜだろうか？

先行研究の限界

- 近世のジェンダー史に関する先行研究は、女性の政治行動が教区や近隣地区レベルにとどまっていると想定してきた。それ以外では戦争や飢饉などの「例外状況」と、宗教や共有地、個人的な支援に関することに限定されていると主張してきた。
- History of women's political thought 「女性たちの政治思想史」も近年盛んに研究されている。しかし、エリート（あるいは読み書きができる）女性が遺したテキストに注目しているため、明確な手引きはない。

近代的な個人は
なぜ男の姿をとるようになったのか？
—初期近代イギリスの事例から—

東京大学 山本浩司

2024/10/22

本レクチャーの目標

前出の問い：

女性の貢献があったにもかかわらず、政治思想はなぜ主に男性の権利に注目するようになったのか？

→目標: 1630年代初頭のロンドンの貧しい教区に生きた洗濯婦の事例を通して、前出の問いに答え始めること。

近世社会にとっての 石鹼とは？

衣服やシーツ、特に麻布
(リネン) を洗うための
必需品で「揺り籠から墓
場まで」必要とされた。
潔白さの象徴でもある
(K. Thomas, 1994)。

(輸入に頼っていた固形石
鹼は高級品; 本報告は国産
の半液状soft soapを扱う)







右: ポートランド伯爵
左: バッキンガム公爵一家



左: National Portrait Gallery. The Duke of Buckingham and his Family. CC BY-NC-ND 3.0

右: National Portrait Gallery. Unknown man, formerly known as Richard Weston, 1st Earl of Portland. CC BY-NC-ND 3.0

John Taylor, 'The Praise of Cleane Linnen'
清潔なりネンへの賛歌(1624)

“Cleane Linnen ...
Our Corps first Cover, at our naked birth /
And our last garment when
we turne to Earth”

「揺り籠から墓場まで」必要とされた麻布。
これを清潔に保つための必需品。

「潔白さ」の象徴でもある。

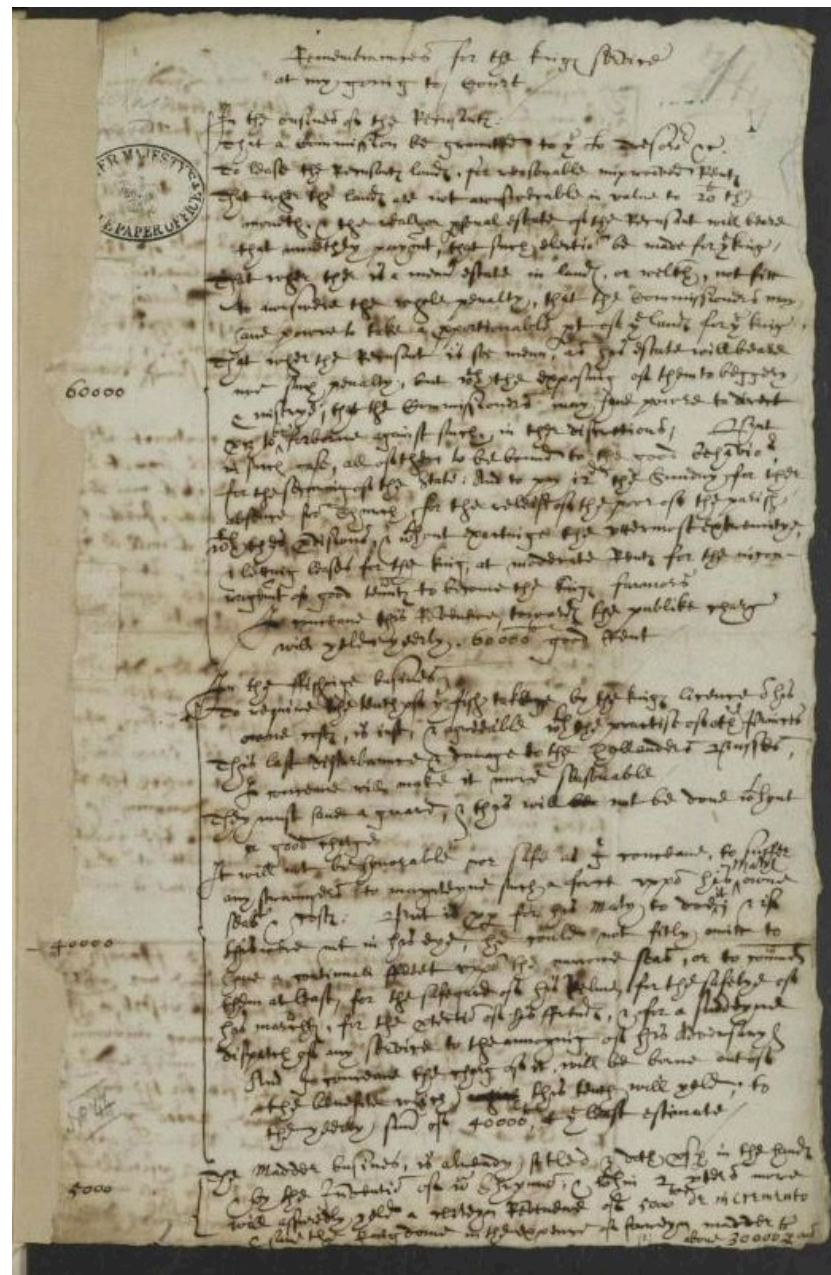
石鹼=
象徴的価値をもった「白さ」の源泉
その生産・販売が、
1632年に独占企業ウェストミンスター会社の
管理下におかれる。

石鹼といわゆる「絶対王政」

1. 1629年からチャールズは議会を招集せず
2. 1625年勃発した対スペイン戦争は1630年に休戦。
3. 議会経由の歳入が得られず財政が逼迫。
4. 様々な施策/プロジェクトが練られた。
5. 1632年以降の独占企業による石鹼国産化はその一つ。

財政改革プラン “Remembrances for the King's service at my going to Court” [1626?]

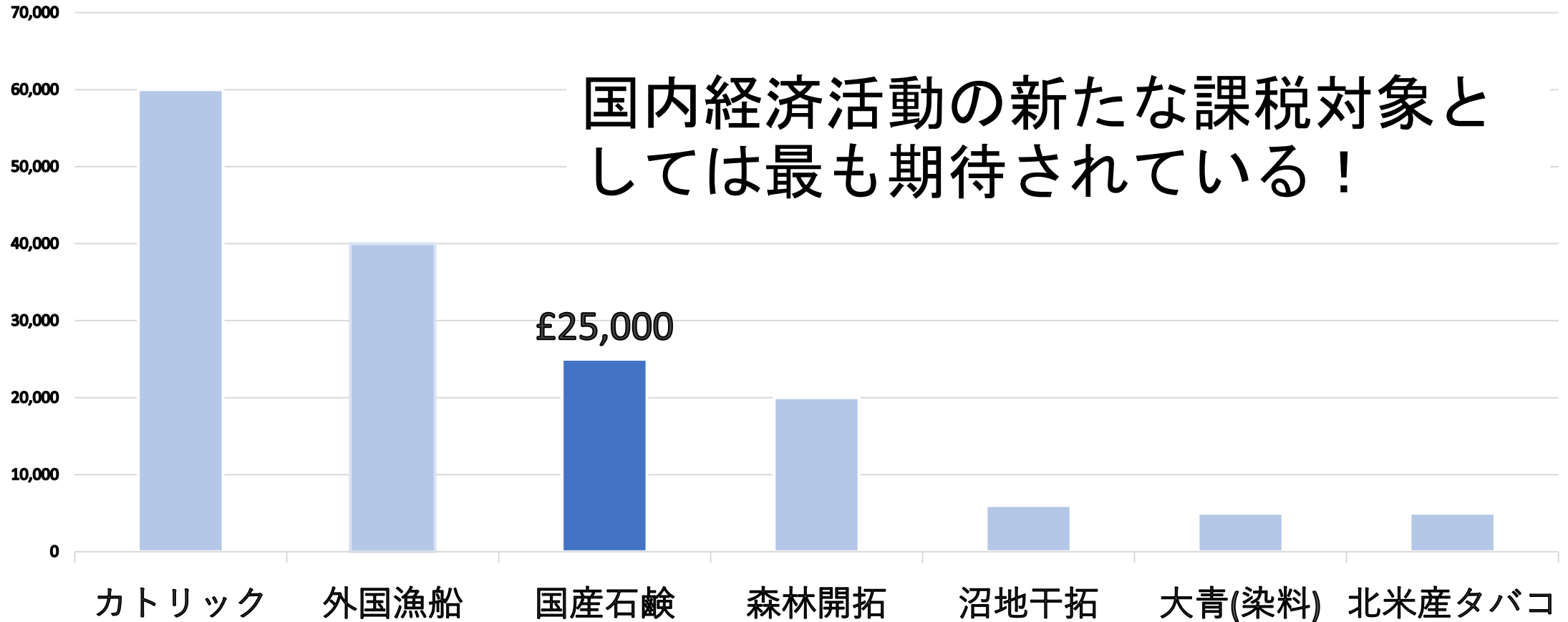
The National Archives, SP 16/44, fol. 1v.



課税対象ごとの予測年間税収 (SP 16/44, fol. 1)



課税対象ごとの予測年間税収 (SP 16/44, fol. 1)



先行研究 1/2 政治経済史における 石鹼独占

イントロ

品質

抵抗

聴かない男

結論

チャールズ一世「絶対王政」の象徴

1641年の「長期議会」による独占批判と、国内産業の独占廃止が経済自由化への一歩として描かれる。

(‘Free trade nation’の一つの深淵)

Gardiner, 1893; Price, 1906; Unwin, 1908; Hughes, 1934; Hill 1980

- グローバル経済の視点は弱く
- ジェンダーの視点は皆無

見逃されてきたグローバルな環境要因

1. イギリス国内の森林は広葉樹が中心で、それら硬質な樹木を燃やして作る灰汁はアルカリ性が高く、石鹼には本来適していなかった。
2. そこで、イギリスの伝統的**石鹼(Old Soap)**はアルカリ性がより低い灰汁が得られる針葉樹が分布するヨーロッパ（特にバルト海沿岸地域）で生産された輸入灰汁を原材料としてきた。
3. 輸入削減を目指すいわゆる重商主義的政策を後押ししたチャールズ一世は、針葉樹から作られる高品質の輸入灰汁の使用を禁止し、1631年以降、低品質の国産**新型石鹼(New soap)**の独占を押し付けた。
4. この**新型石鹼**が洗濯婦たちの手指に手荒れを起こした。



論点1：

石鹼の独占：森林生態系の制約に逆らってでも原材料を国産に切り替えることで、輸入を削減し、ひいては貿易収支と国家財政を改善しようとする野心的プロジェクト。

カンタベリー大司教ロードの日記
“this business ... of great consequence”

12 July 1635

独占会社と新型石鹼の失敗

イントロ

品質

抵抗

聴かない男

結論

独占会社と新型石鹼の失敗

1. 国産の灰汁を買い集めすぎたために各地で価格高騰。これに言及した枢密院文書と手紙が複数残る。
2. つまり独占会社の生産能力には問題がなかったようだ。
(年間生産目標5000トンとの記録あり)
3. 問題は新型石鹼が売れたかどうか。(価格は旧型より少し高い)
4. 新史料：ウェストミンスター会社が独占体制を敷いた後の毎日の販売記録（ロンドンの販売拠点一箇所の記録、正確場所は不明、一部破損しているため数値を連続して計上できるのは1633年12月～翌1月の2ヶ月間）
5. これを1639年、1643-4年の旧型石鹼データと比較。（一部省略）

販売記録の分析結果

		12ヶ月	2ヶ月	1週間	備考
1639年	旧型石鹼 販売実績	3592トン*		593バレル	
1643-4年					
1633-4年					

ソース : *TNA, E 101/634/38

販売記録の分析結果

		12ヶ月	2ヶ月	1週間	備考
1639年	旧型石鹼 販売実績	3592トン*		593バレル	
1643-4年	全石鹼 課税実績	2281トン†		376バレル	課税実績 (≒生産実績)
1633-4年	新石鹼 販売実績	n/a	48.28トン§	53バレル	12月-1月

ソース : *TNA, E 101/634/38 † *The soap-makers complaint* (1650), p. 15 § TNA, E 101/602/8

販売記録の分析結果

		12ヶ月	2ヶ月	1週間	備考
1639年	旧型石鹼 販売実績	3592トン*		593バレル	
1643-4年	全石鹼 課税実績	2281トン†		376バレル	課税実績 (≒生産実績)
1633-4年	新石鹼 販売実績	250トン¶ 後から足した (may 2024)	48.28トン§	53バレル	12月-1月
1634-5		1327トン¶			
1635-6		2615トン¶			

1. 日々の必需品→月毎の販売量に劇的な変化はないと想定
2. 新石鹼販売量は1639年内戦勃発前の10分の1以下! (他の史料と合致)
3. 小売店や独占会社のパートナーへの販売分を除くと、消費者向けの販売量はもっと低い。

新型石鹼売上

1633年12月—1634年1月

購買量 firkins (4 firkins = 1 barrel)	合計 購入 回数	中央 値	対全体の 回数	対全体 売上量	うち 女性の 購入回数	備考	事例
10以上	35	28	9.3%	75.2%	3	独占仲間/ 卸商/ 大規模小売	Mr Vaughan 350firkins Mrs Lees=80 'for her shop'
3 以上 10未 満	25	4	6.6%	7.3%	0		
1.5 以上- 3 未 満	55	2	14.6%	6.3%	2	小規模小売/ 家庭用一括	
1	122	n/a	31.9%	7.2%	13	小売様子見/家庭 一括/洗濯婦一括?	蠟燭商 William Buttler 12/19と 1/2に 各 1 firkin
0.5	139	n/a	36.9%	4.1%	16		
TOTAL	376	n/a					

1 firkin以下の購買 261回(全体の2/3の購買)が、売上の11%を占める。その中の1割程度が女性による購入。

論点 2 :

女性による独占会社からの直接の購入は
小規模購入に限っても1割程度だが、それ
もジェンダー観点は重要。

石鹼の使用者のほとんどが女性だったから。

データ：洗濯作業の9割以上を 未婚・既婚・未亡人などの女性が担当

<i>f. Housework</i>	<i>Total</i>	<i>Male</i>	<i>Female</i>	<i>% female</i>	<i>% female, adjusted</i>
Cleaning	24	4	20	83.3	92.3
Laundry	51	2	49	96.1	98.3
Food and drink provision (cooking)	160	57	103	64.4	81.3
Light and fire provision	25	10	15	60.0	78.3
Collecting water	27	3	24	88.9	95.1
Attending guests	7	2	5	71.4	85.7
Other housework	3	1	2	66.7	83.3
Total	297	79	218	73.4	86.9

(Whittle, J., & Hailwood, M. (2020). The gender division of labour in early modern England. *The Economic History Review*, 73(1), 3-32.)

→ギルドも規制もないインフォーマルな労働市場
(奉公人や貧民すら最初に任せるタスク, cf. North)

先行研究 2/2

石鹼会社(+ 独占) の政治経済史に
おけるジェンダー視点の欠如
(詳細はスキップ)

近世イギリスのジェンダー史は？

エリート女性を除くと、
教区レベルの秩序維持

(K. WrightsonのPolitics of Parish)と
日常生活における影響力行使(everyday politics
/ moral authority of men & women)に
分析が集中する傾向。

(Gowing, 1996, Capp, 2003, Hubbard 2002, Shepard, 2017)

Gowing (1996)

著作権の都合により
書影を削除しました。

Laura Gowing
Domestic Dangers

Oxford Studies in Social History
Oxford University Press
(1999)

Capp (2003)

著作権の都合により
書影を削除しました。

Bernard Capp
When Gossips Meet
Women, Family, and Neighbourhood
in Early Modern England

Oxford Studies in Social History
Oxford University Press
(2003)

Hubbard (2012)

著作権の都合により
書影を削除しました。

Eleanor Hubbard
City Women
Money, Sex, And The Social Order
In Early Modern London

Oxford University Press
(2014)

残された課題 1/2

中産階級以下の女性たちの日常生活が、
どのように長距離貿易が拡大する当時の
政治的うねりと国際的なモノの動きに影響を
受け、またその大きな流れにどのような影響
を与えたか未だ明らかでない。

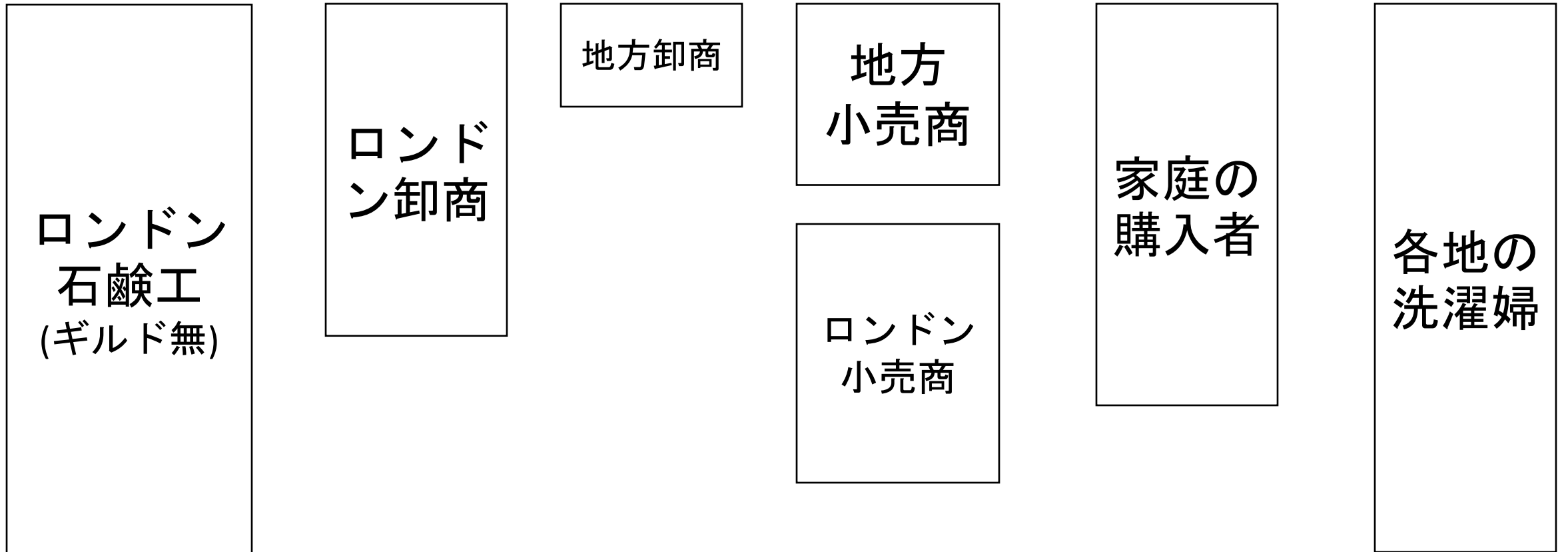
これを石鹼独占失敗の事例から実証する。

石鹼の製造・流通・販売フロー

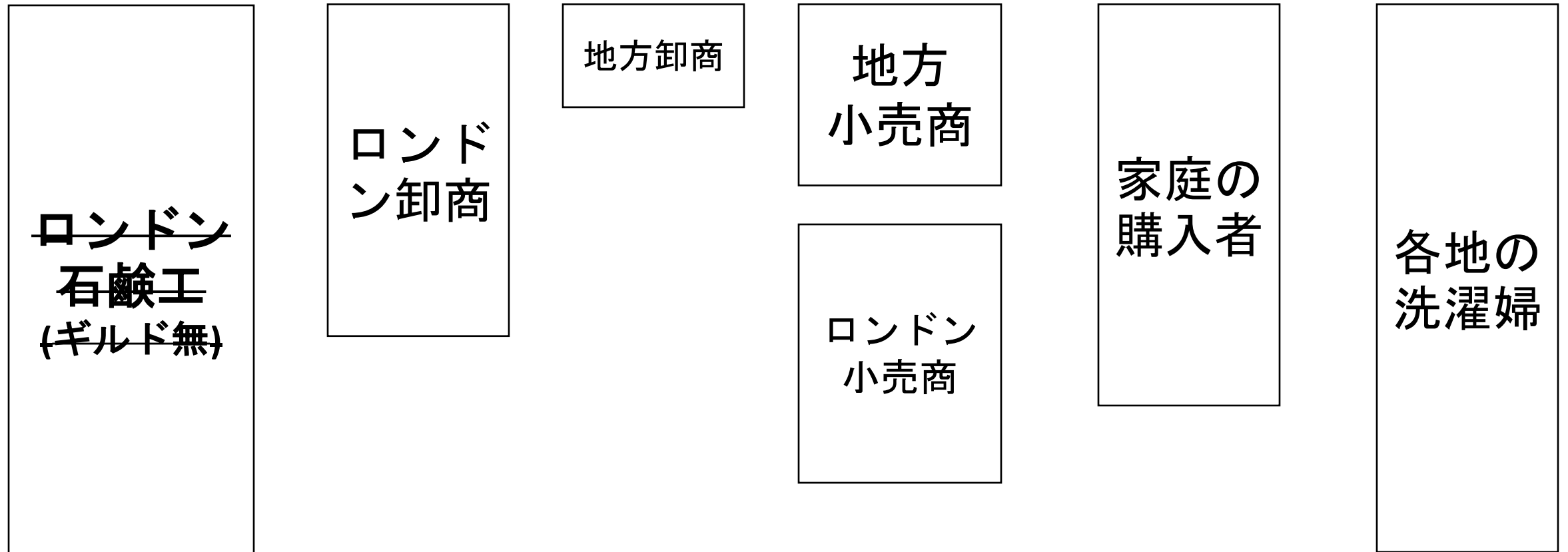
ロンドン
石鹼工
(ギルド無)

各地の
洗濯婦

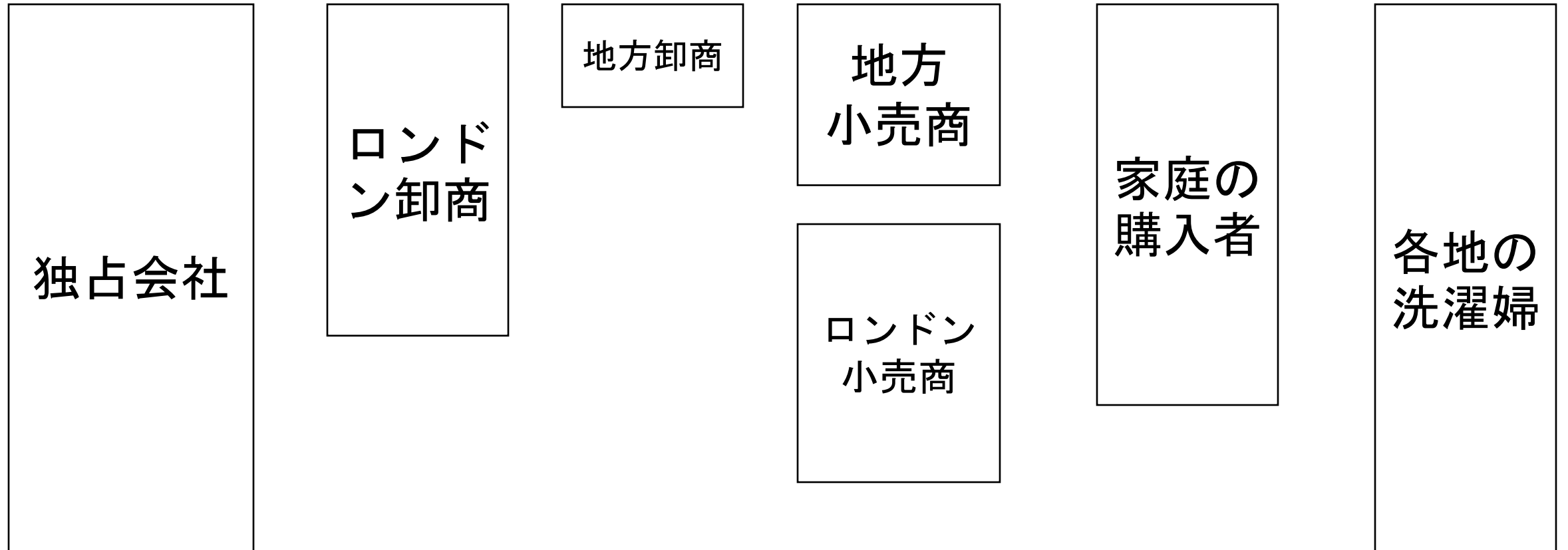
石鹼の製造・流通・販売フロー



新型石鹼の製造・流通・販売フロー

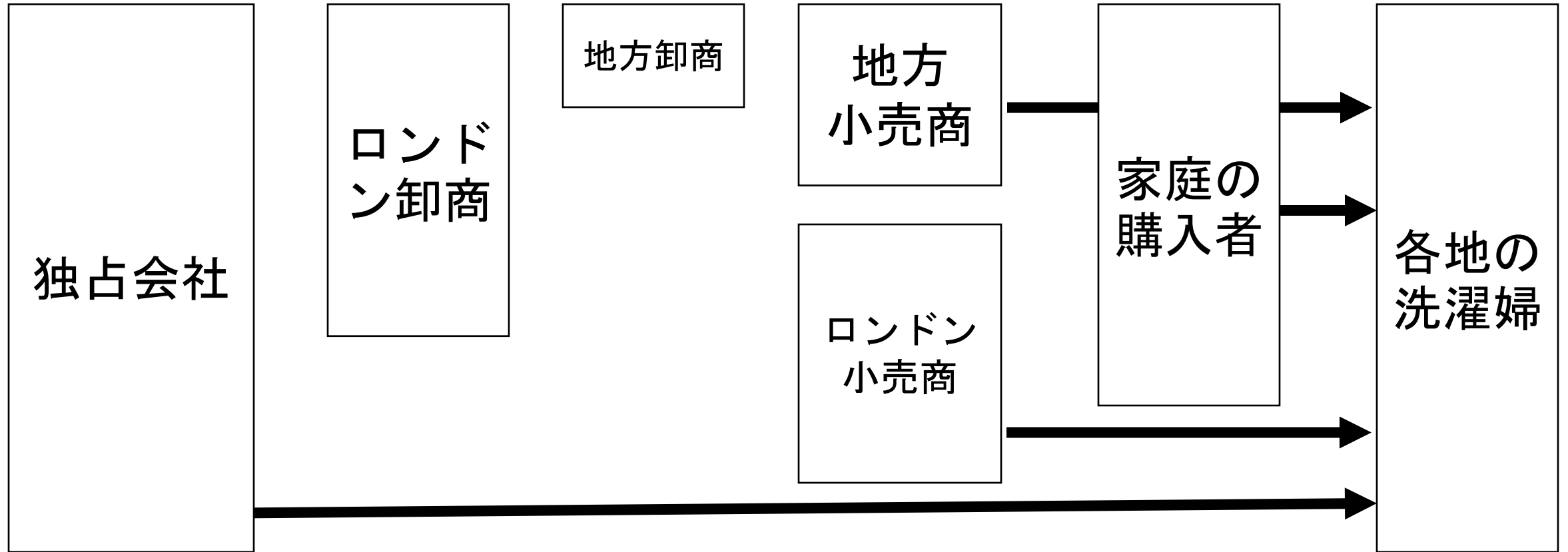


新型石鹼の製造・流通・販売フロー



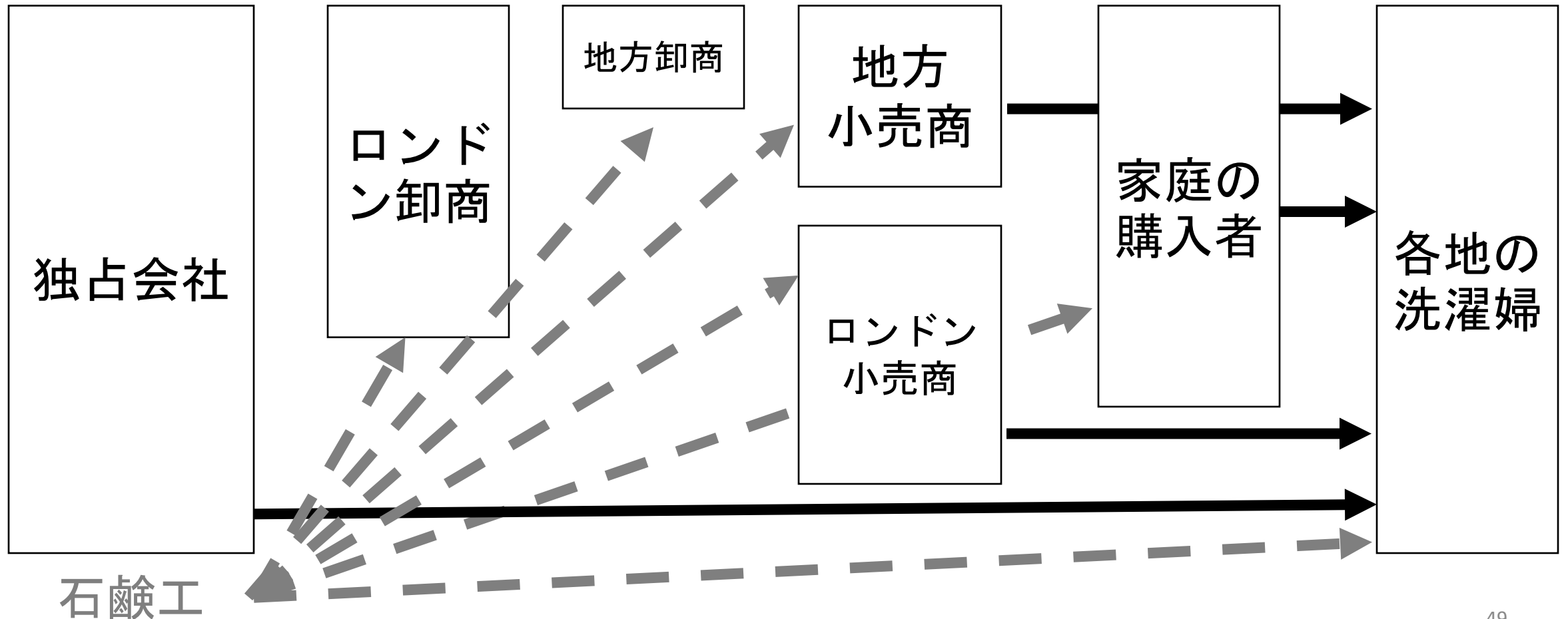
石鹼工

新型石鹼の製造・流通・販売フロー



石鹼工

新型石鹼の製造・流通・販売フロー



旧型石鹼が禁止され、新型の流通が本格化した1633年以降、両者の品質情報・評判についてのフローはようになっていたのか？

→使用者である洗濯に携わった女性たちの経験が重要

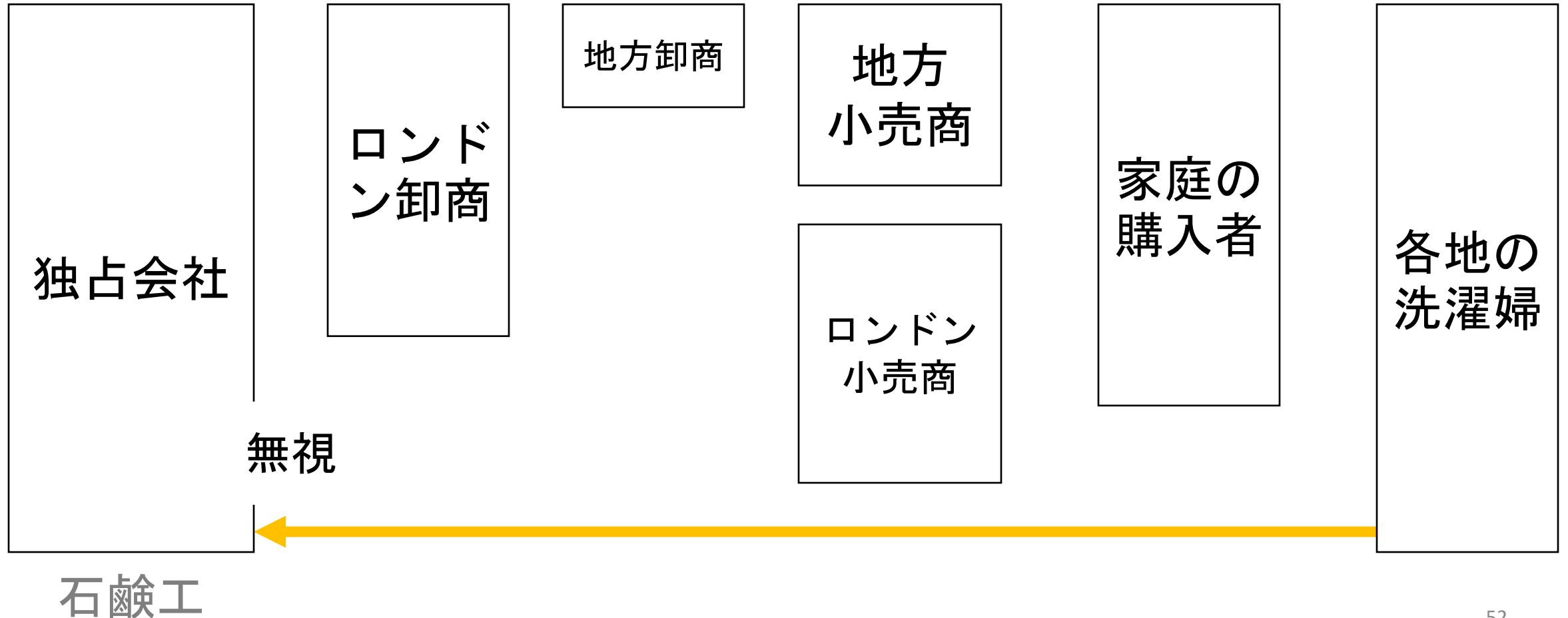
背景

石鹼独占は、
既に認可と品質管理の次元において、
洗濯婦達の品質関わる
実証に依存していた。

(しかし女性たちの証言をねじ曲げて
認可を得た模様)

(認可プロセスが生み出した史料：後述)

新型石鹼販売に伴う情報フロー



新型の悪評を市中に広める女性たち

「荒くれ者どもが[中略]、女どもや卑しい者どもを焚き付けて、次のようなことを往来を行く人々に告げさせた。特許保持者らが作る石鹼は（旧型石鹼程には）1) 洗濯物が白く仕上がらないし、2) それほど良い匂いもしない、3) またold soapほどよく洗い上がるわけでもなく、4) 麻織物の生地を傷めてしまうし、さらには（old soap以上に）5) 洗濯する人の手に肌荒れを起こす。」

‘Yet some turbulent p[er]sons ... have raised up women, and some of meane condic[i]on in the Streete in open manner to publish [*i.e. to make publicly known*] that the Sope made by the Patentees, [1] washeth not so white nor [2] so Sweete; [3] nor goes soe farre in extent of washing as the old Sope, and [4] that it also Spoyleth, and burneth the lynen, and [5] fretteth the Hande of those that wash therewith [hereafter fol. 40v] more then the old Sope did.’

Dec. 6 1633, at the Privy Council, Whitehall

女性たちを「焚き付けられた」
受動的な存在と想定するのは拙速である。

品質確認

1624年

6人の洗濯婦

洗って二日乾燥

1. 白さ
2. 匂い
3. 必要な使用量
4. 洗浄力

1632年 (新型)

数名の洗濯婦

実証プロセスの記載なし

1. 品質 Goodness
2. 匂い
3. 売りやすさ？
Merchantableness
4. 生地を傷めるか

「我々の召使いと洗濯婦は
new soapを強く嫌がっていた」
(strongly disliked)にも
かかわらず認可

噂話

1633年

女性たち(人数不明)

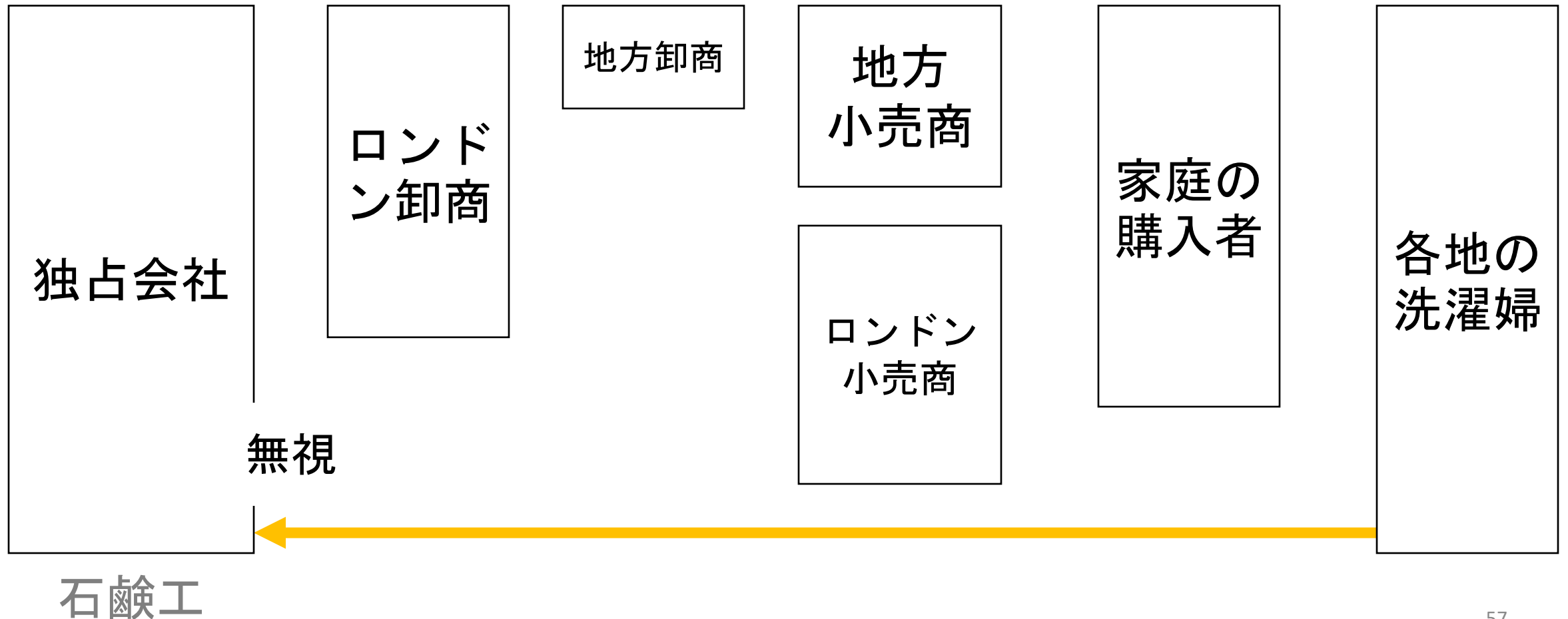
プロセスの記載なし

1. 白さが足りない
2. 良い匂いもしない、
3. 仕上がりも良くない
4. 生地を傷める
5. 手に肌荒れを起こす

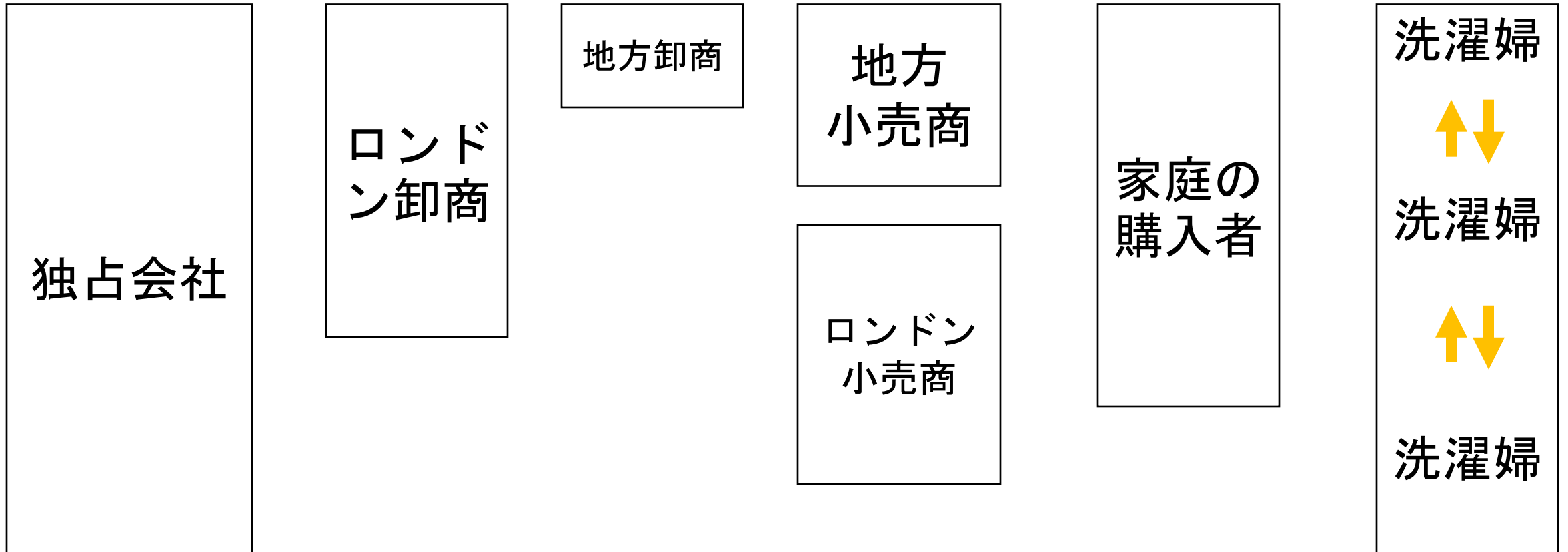
→噂話の内容が、洗濯婦が関わった実証(trial)の評価軸と酷似。

新型石鹼の「何が良くないか」について、実際に洗濯をしていた女性たちが自分たちの間で情報交換を行い、そして「荒くれ者」(=石鹼工、小売商?)たちにも情報提供をしながら悪評を流していた可能性がある。

新型石鹼販売に伴う情報フロー

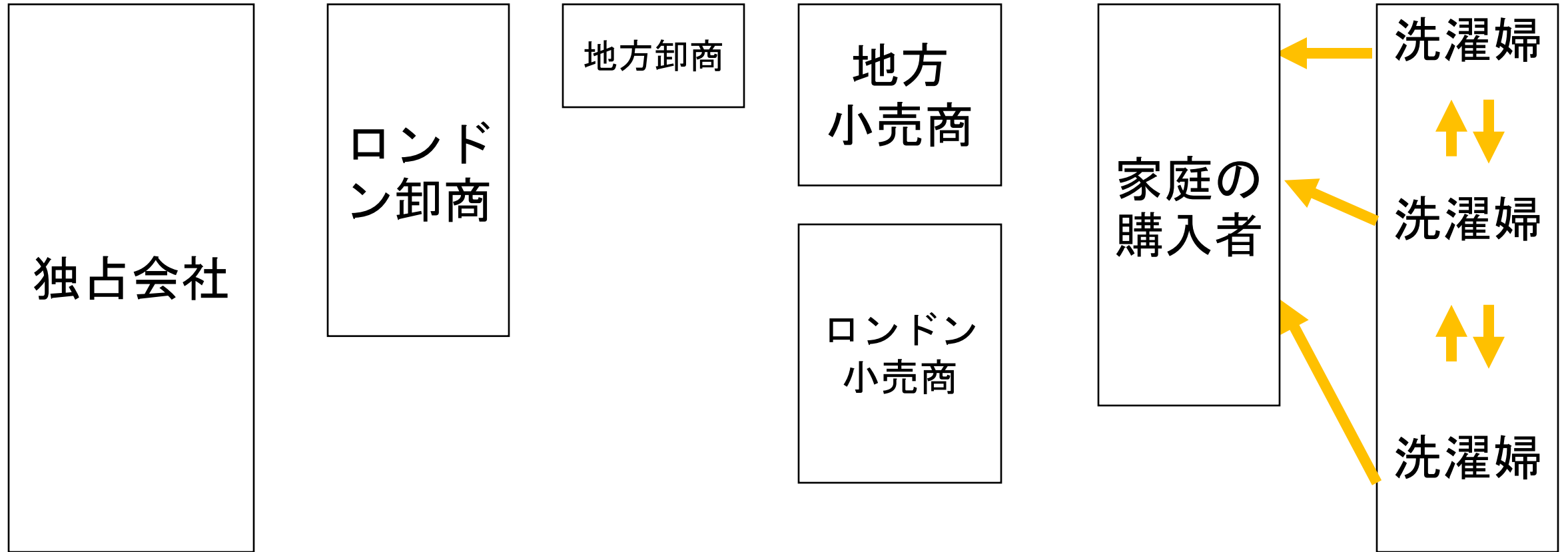


新型石鹼販売に伴う情報フロー

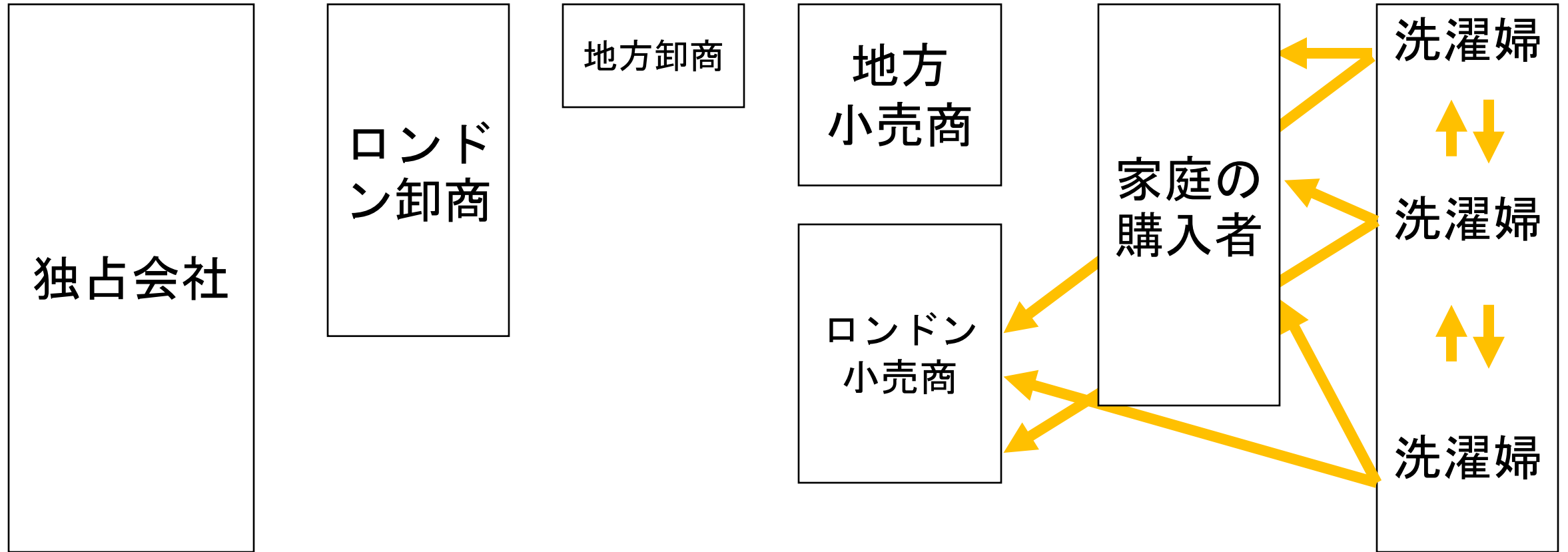


石鹼工

新型石鹼販売に伴う情報フロー

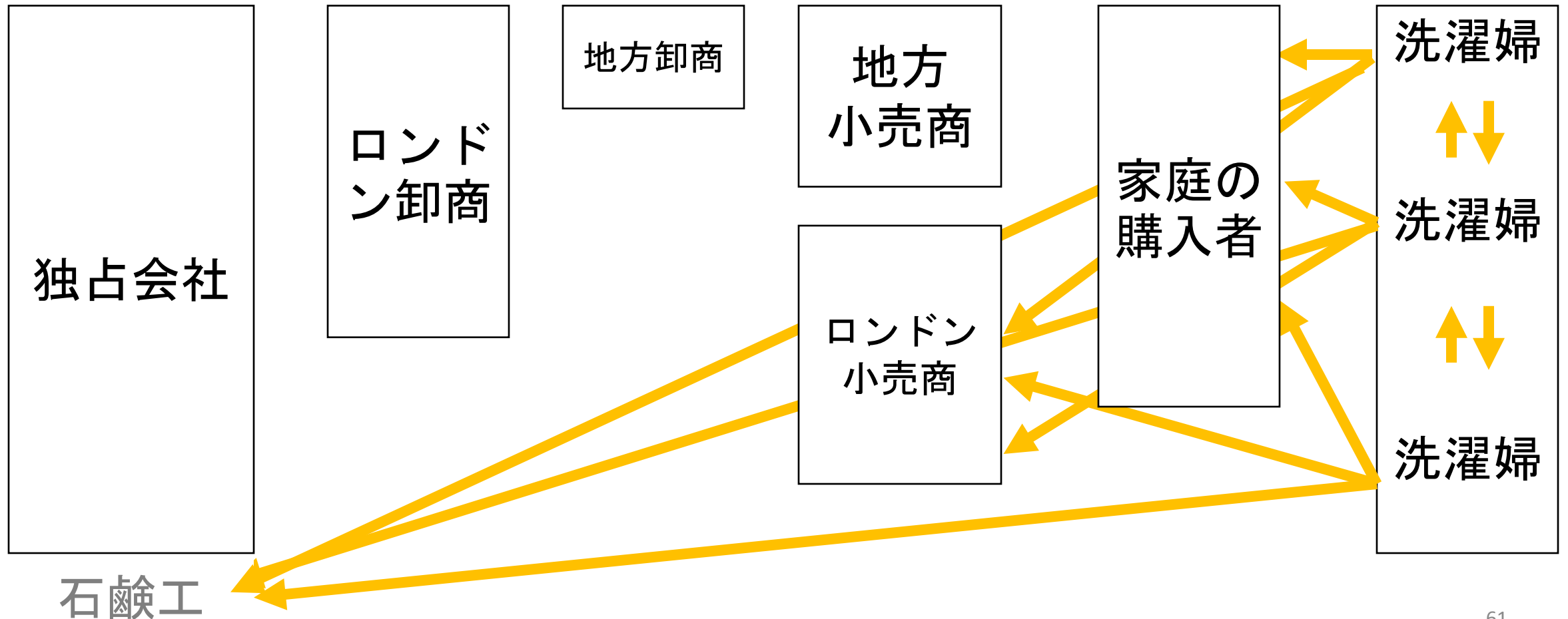


新型石鹼販売に伴う情報フロー



石鹼工

新型石鹼販売に伴う情報フロー



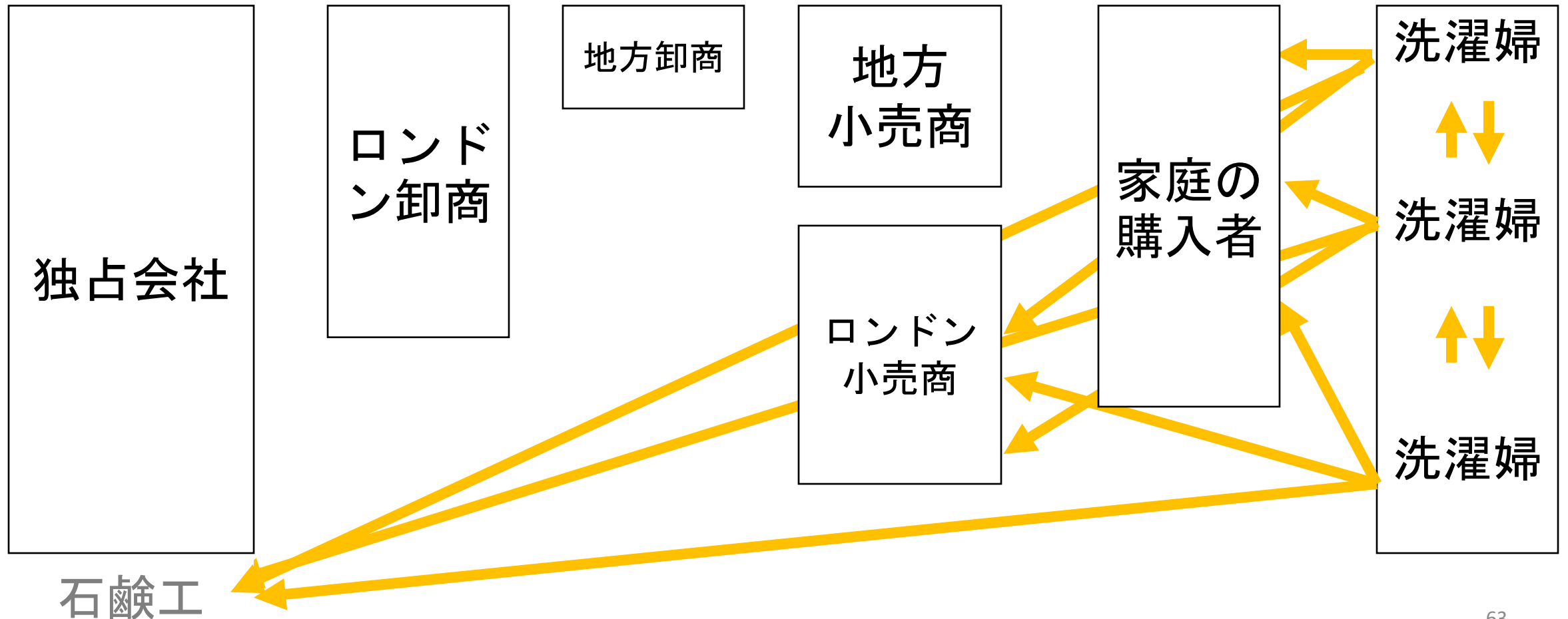
イングランド北部からの情報

Anthony Kyrle to John Howe, merchant, London

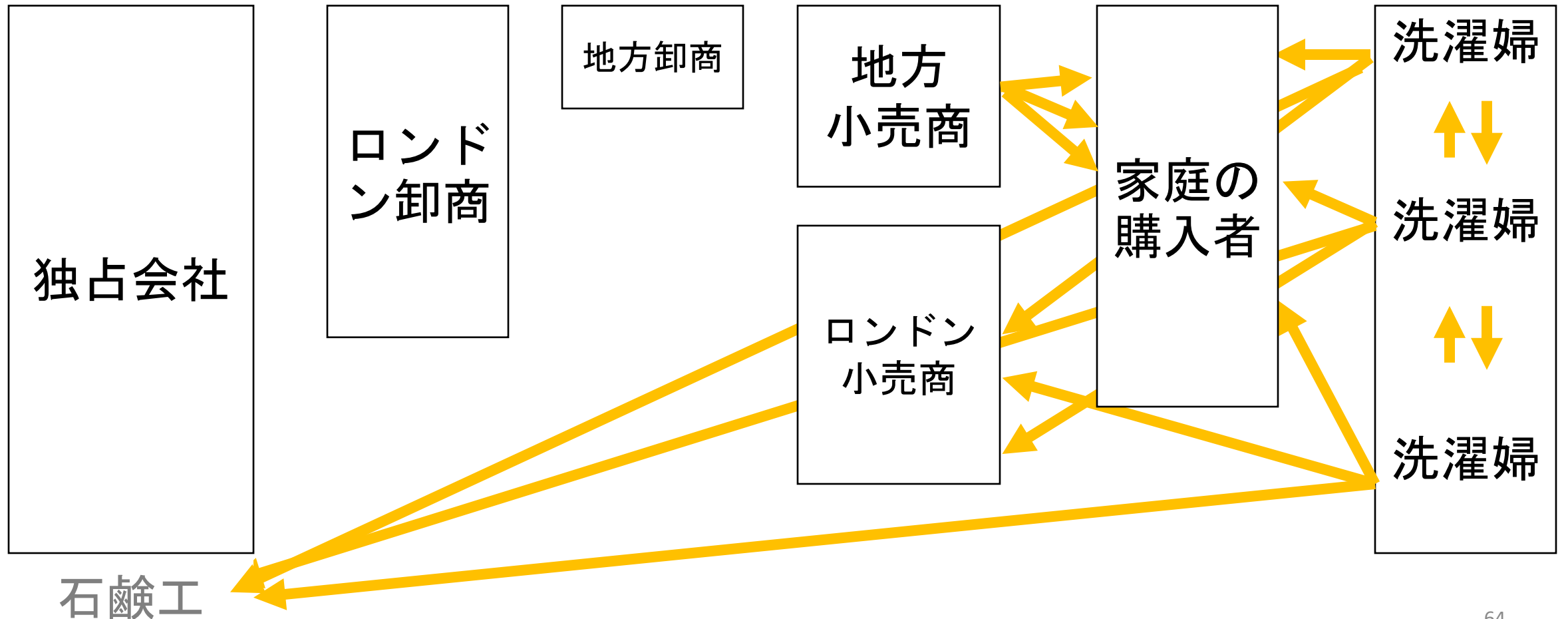
SP 16/271 f.91, July 8 1634

- ハルに住むジョン・ジョンソンはあらゆる人に[禁止された]旧型石鹼を売買するよう進め、彼の言動は人々を新型から遠ざけた。 one John Johnson of this towne [of Hull] hath most maignantly [...] encourageth all to trade wth the speckled wch discourageth any to meddle w[i]th the newe.[...]
- 北部に輸送しようと言った新型石鹼については、一切送らないでください。手元の在庫を売りきったら、決済して売上を送金します。 for the soape you mention to be sent, I desire none when this in hande is sould I shall deliv[er] the moneyes[.]

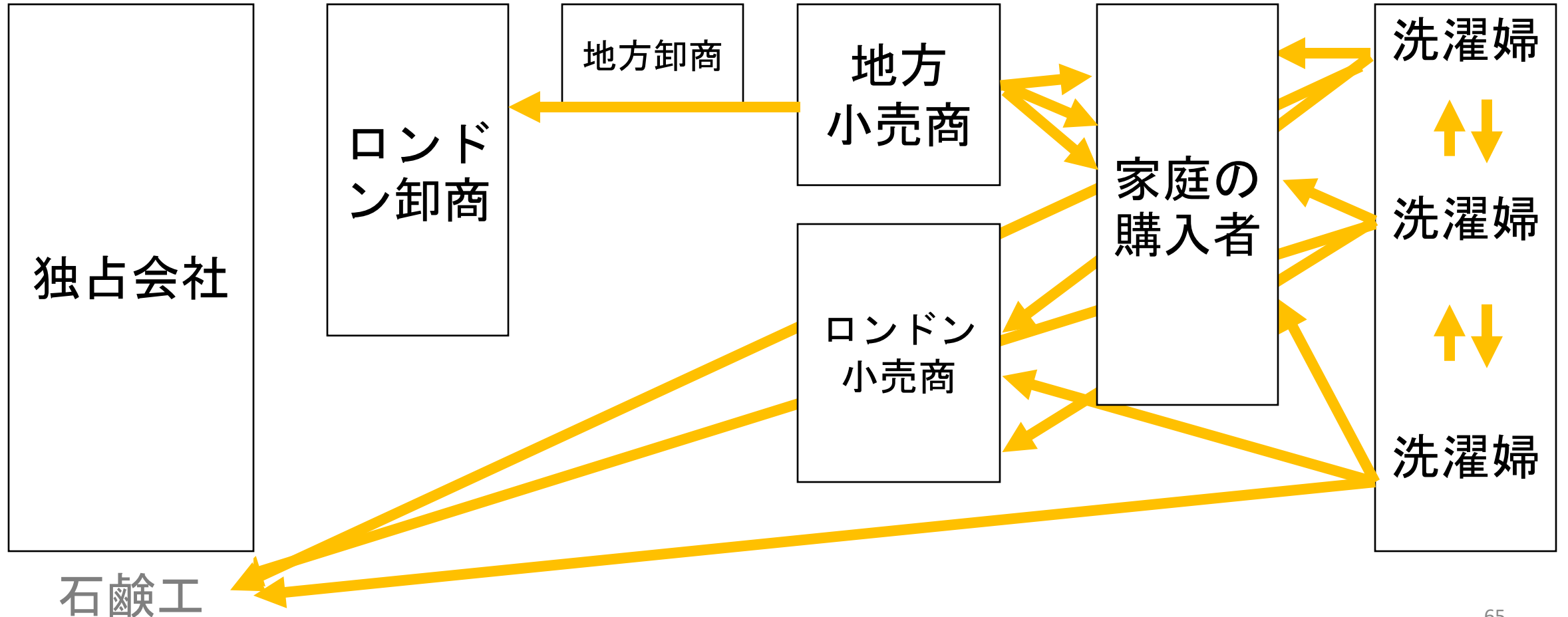
新型石鹼販売に伴う情報フロー



新型石鹼販売に伴う情報フロー



新型石鹼販売に伴う情報フロー

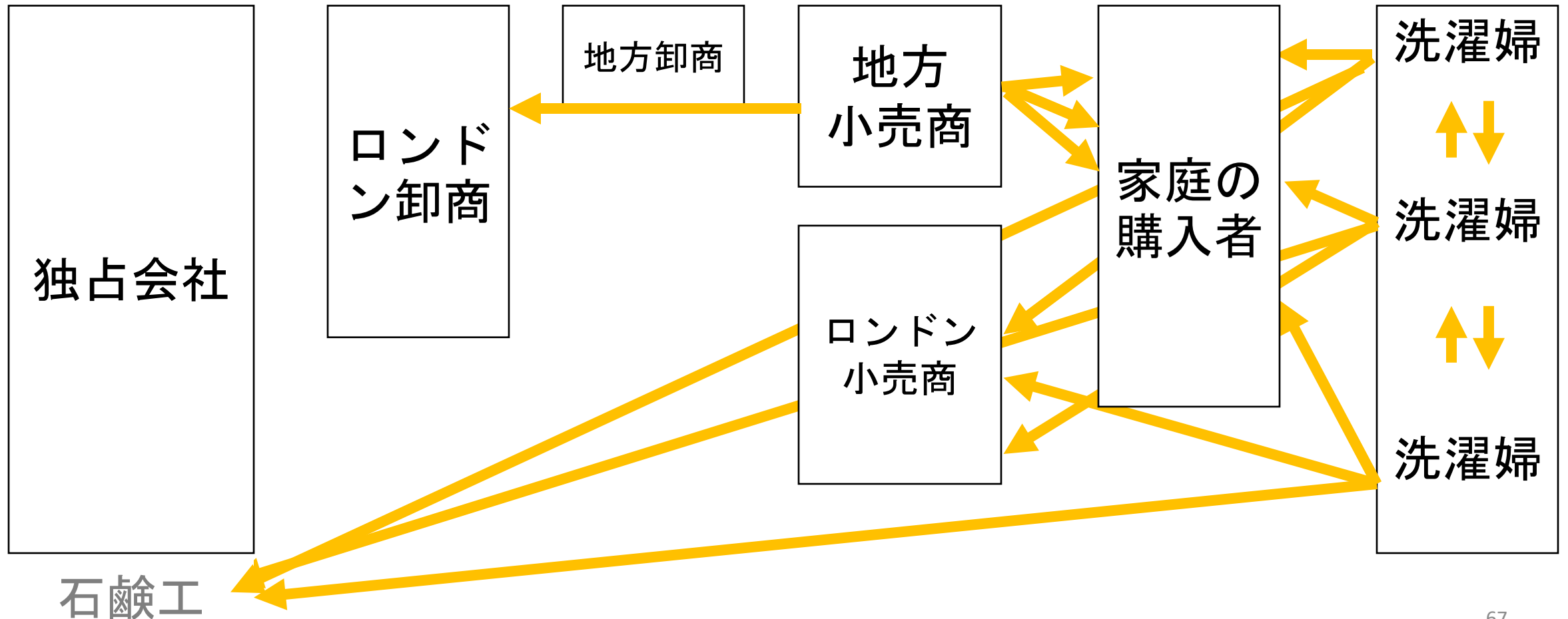


小売り商として新型石鹼を販売していた ロンドンの商人Stephen Harrisonの請願書

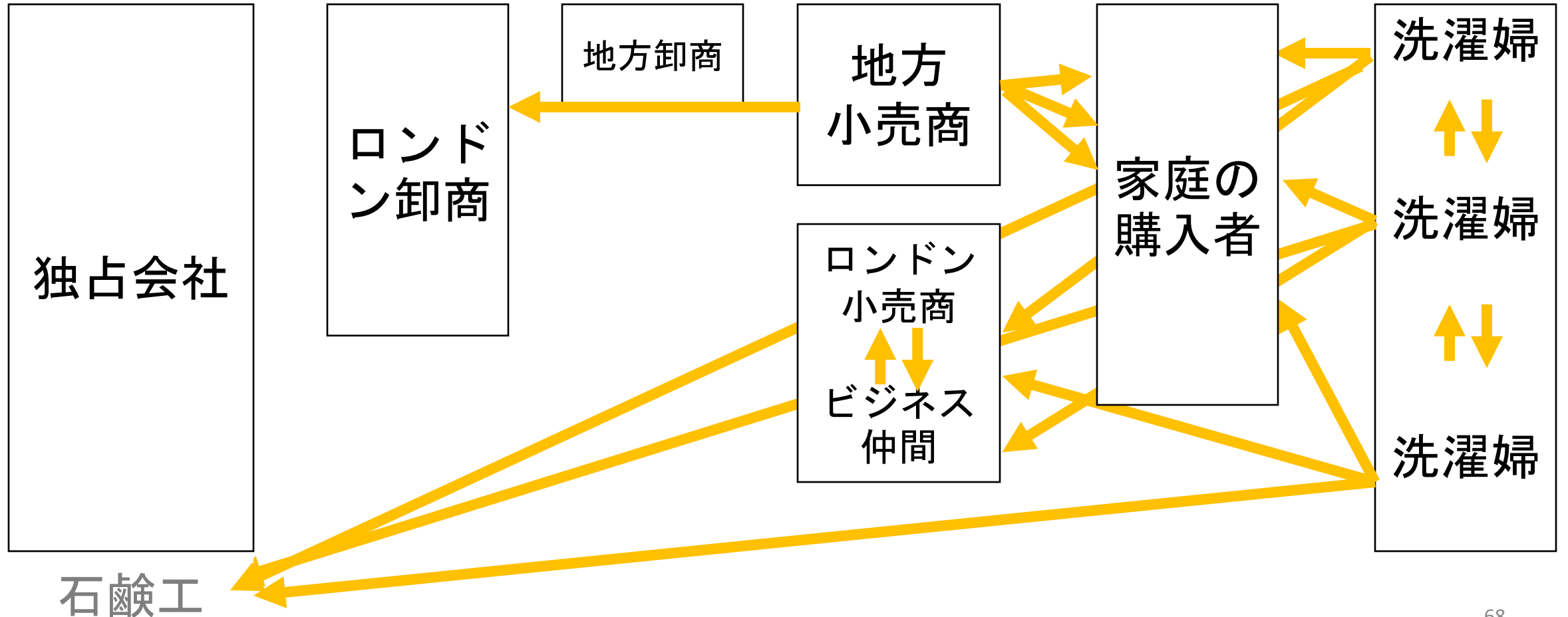
- 「頑張って売ろうとしたが利益もせず、**信用取引にも使えなかった**(without credit)」 'having endeavoured himself to sell of the new Sort of Soape **can sell but little, and that w[i]thout Credit or profitt**, and now can gett none at all that is good to serve his customers [...]
- 売れる見込みが低いと他の商人たちも考えていた。

SP 16/303 f.128 (also SP 16/303 f.66)

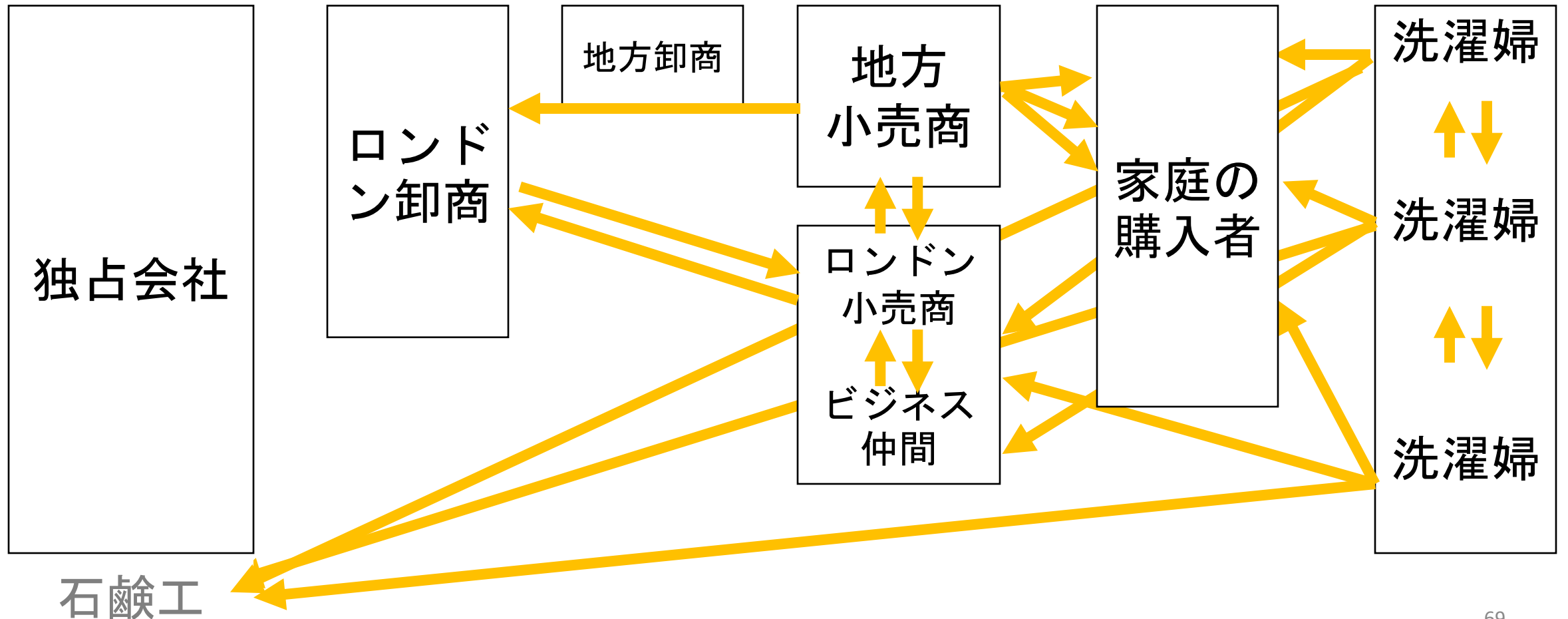
新型石鹼販売に伴う情報フロー



新型石鹼販売に伴う情報フロー



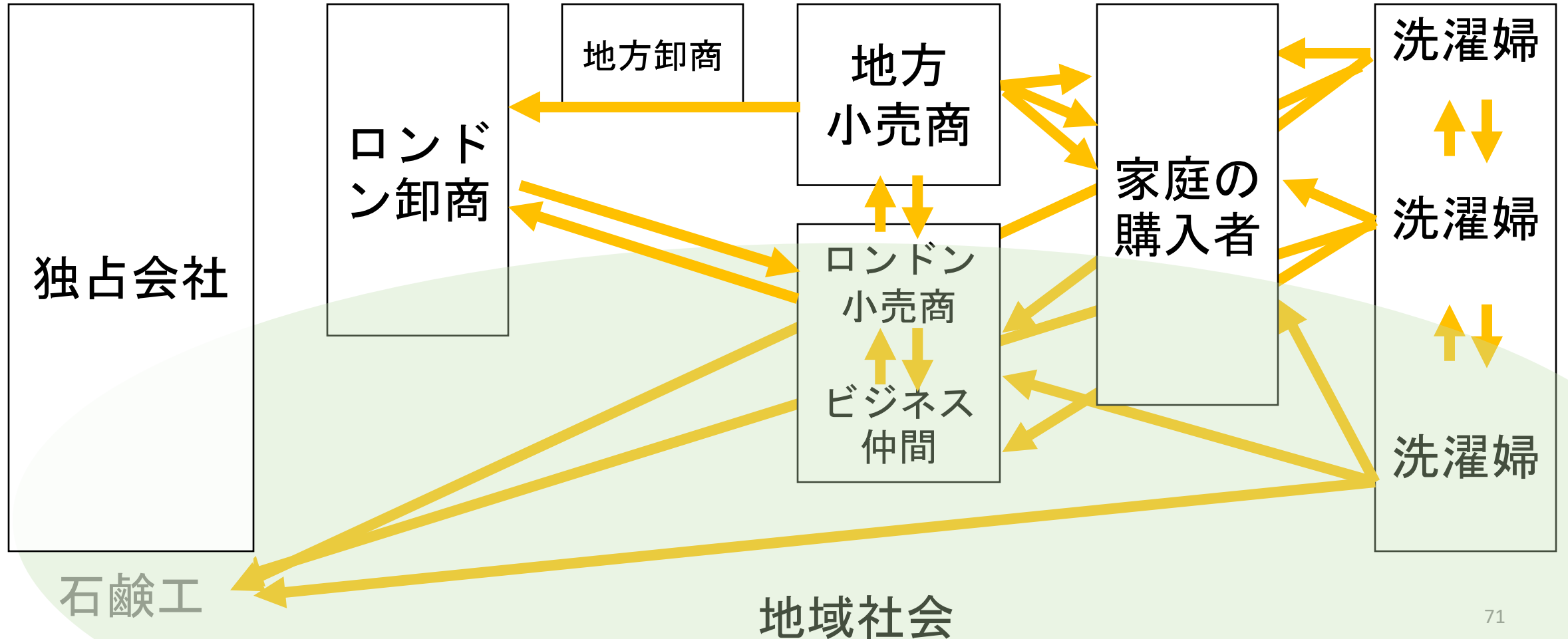
新型石鹼販売に伴う情報フロー



石鹼工と地域住民の抵抗についての報告 (独占会社から) SP 16/274

「旧型石鹼と関連器具の没収に反対して (違法な生産を続ける) 生産者とその召使いは、一度に200人以上集まるような騒動を何度も起こし、検査官から没収された石鹼を法に反して奪い返し、言葉をもって脅し、彼らの服を引き裂き、命の危険に晒した」
the makers thereof have not onely refused to have their Sope seized; but also they and their servants have raised many tumults, wherein above 200 people have bin gathered together at a tyme; who have seditiously taken away the Sope from the Searchers, abused them in language, torne their clothes, & putthem in dang[er] of their lives[.] SP 16/274

新型石鹼販売に伴う情報フロー

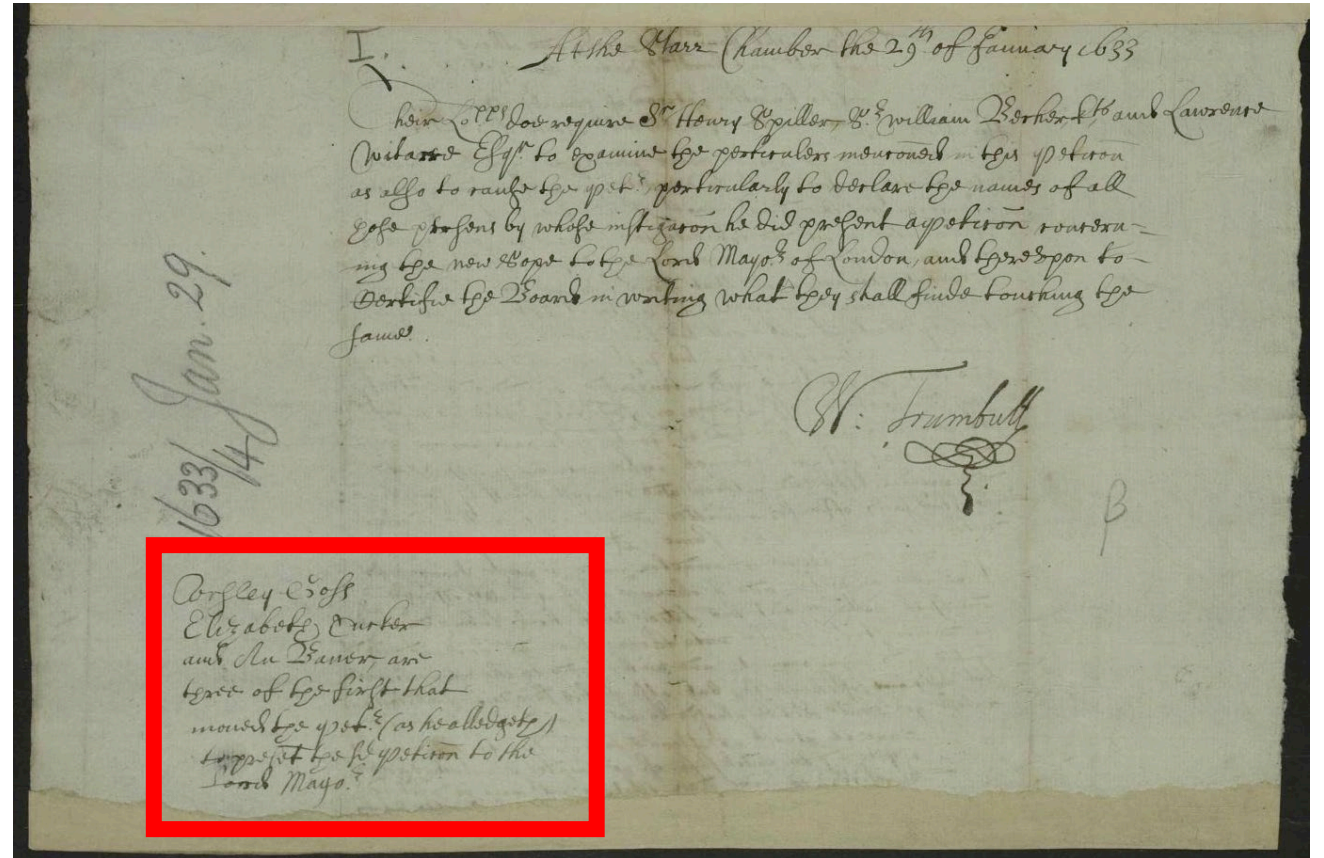


女性たちの抗議署名

ロンドン市長らによると、new soapに反対する請願書 (petition)が複数あり、合計2-300人の署名が付されていた。

請願書そのものは見つかっていないが、提出の背景についての記録（獣脂ろうそく職人カリントンの尋問調書）が見つかった。

1634年2月10日 Edward
Quarringtonの尋問に寄
せられたメモ



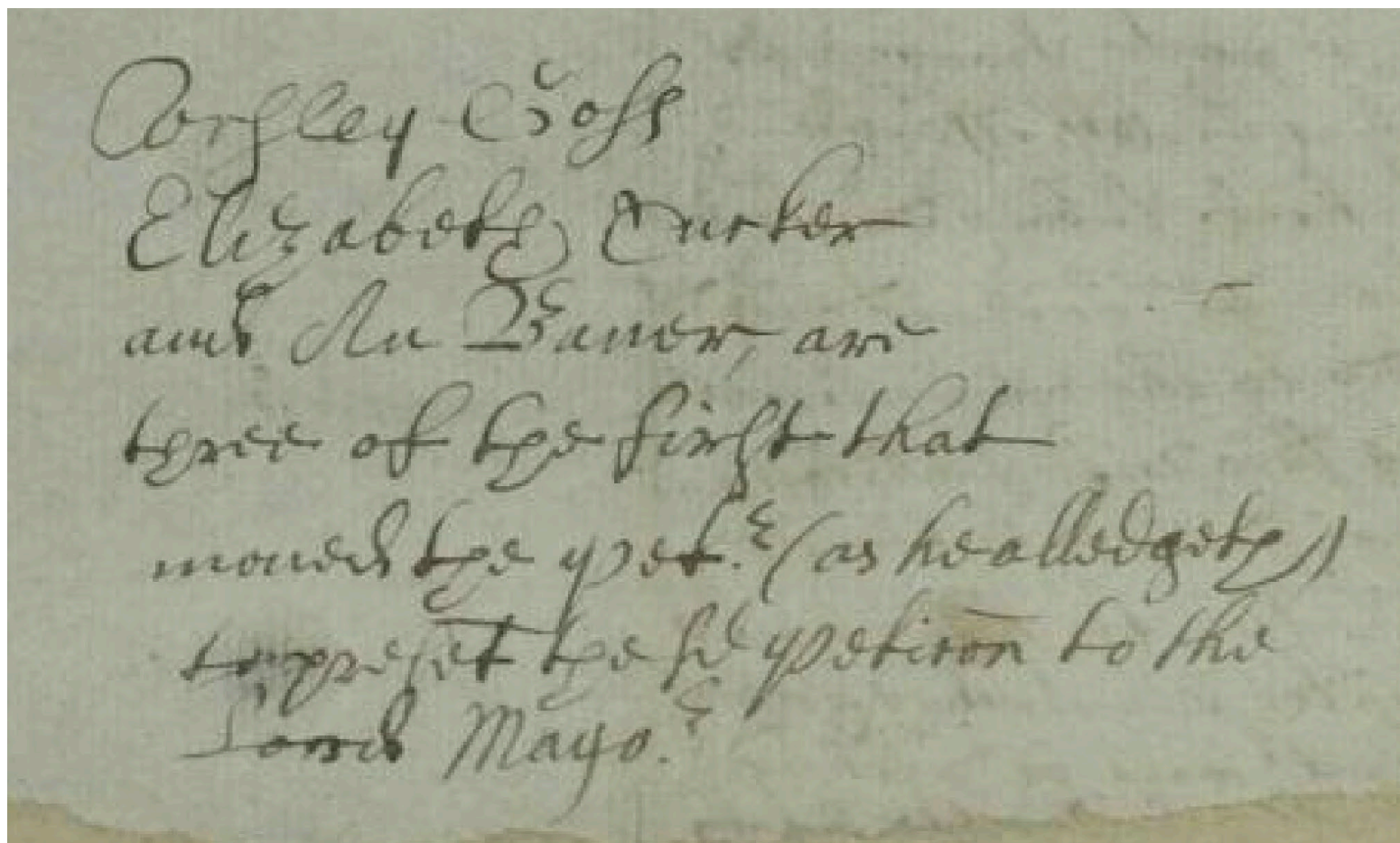
The National Archives, SP 16/2489, fol. 130v

1634年2月10日 Edward Quarringtonの尋問に寄せられたメモ

Ursley Gosse, Elizabeth Tucker と An[n] Banerは、請願書を市長に届けるよう[Quarringtonを]最初に説得した(moved) うちの3名である。

「Ursley Gosse, Elizabeth Tucker and An[n] Baner are three of the first that moved the petitioner [...] to prese[n]t the s[ai]d petic[i]on to the Lord Mayor’.

'The Examinac[i]on of Edward Quarrington taken before Sir Henry Spiller & Willm Beccher Knights & Laurence Whitaker Esq the xth day of February 1633[74]



Ursley Gosse
Elizabeth Tucker
and An[n] Baner, are
three of the first that
moued the petitioner (as he alleigeth)
to present his petition to the
Lord Mayo.

The National Archives, SP 16/2489, fol. 130v

社会史の重要史料、ロンドン教会裁判所での証言から、Elizabeth Tucker を発見できた(!)。
Deposition in London Commissary Court
(GL, 9065A/7)

結婚・出産の記録を使ってテムズ川沿いの教区でTuckerと結婚したエリザベスが1人だけ見つかった。

Deposition in London Commissary Court (GL, 9065A/7)

- **Date: 16 Nov. 1638**
- Elizabeth Tucker, widow, 40 and upwards, of St Martin Vintry, living in the said parish from infancy, and born in the parish of All Hallows the Great.



N - They say many when I get my face begun
By the joy that when they see placed here
On the wall of the Tower of London
Sits the King, my King and Lord
I cannot be moved and London, for that song
Through the King's love I will be here my love
How I can love (I hardly feel of King)
How I can love (I hardly feel of King)
How I can love (I hardly feel of King)
And let me joy that happy Britain
This is the way that happy Britain



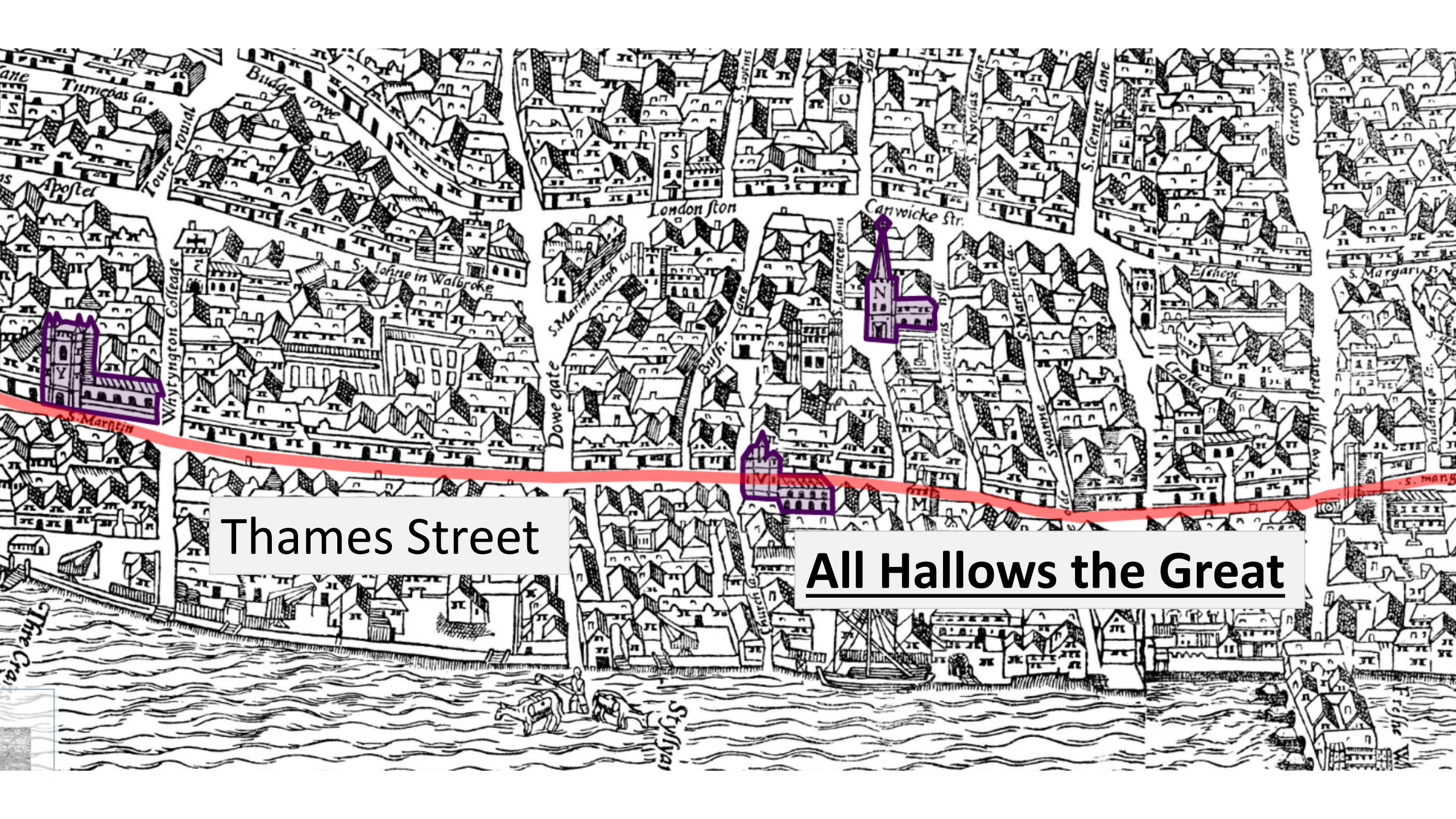
St. Paul's Cathedral

Guildhall

Tower of London

London Bridge

N.B. - They say never when full my face began
By the sun alone, who then my plumed hat
On his shield set, when golden Trowes do shew
Set led my Lord, my King and Lordship
Enough to make and London for the king
Through Rogers large Metal then my state
How (say) I love (I have) the King
How (say) I love (I have) the King
And so we joy the happy life to be
This version for my Sonnets King to be.



Thames Street

All Hallows the Great



St Martin Vintry

Thames Street

All Hallows the Great

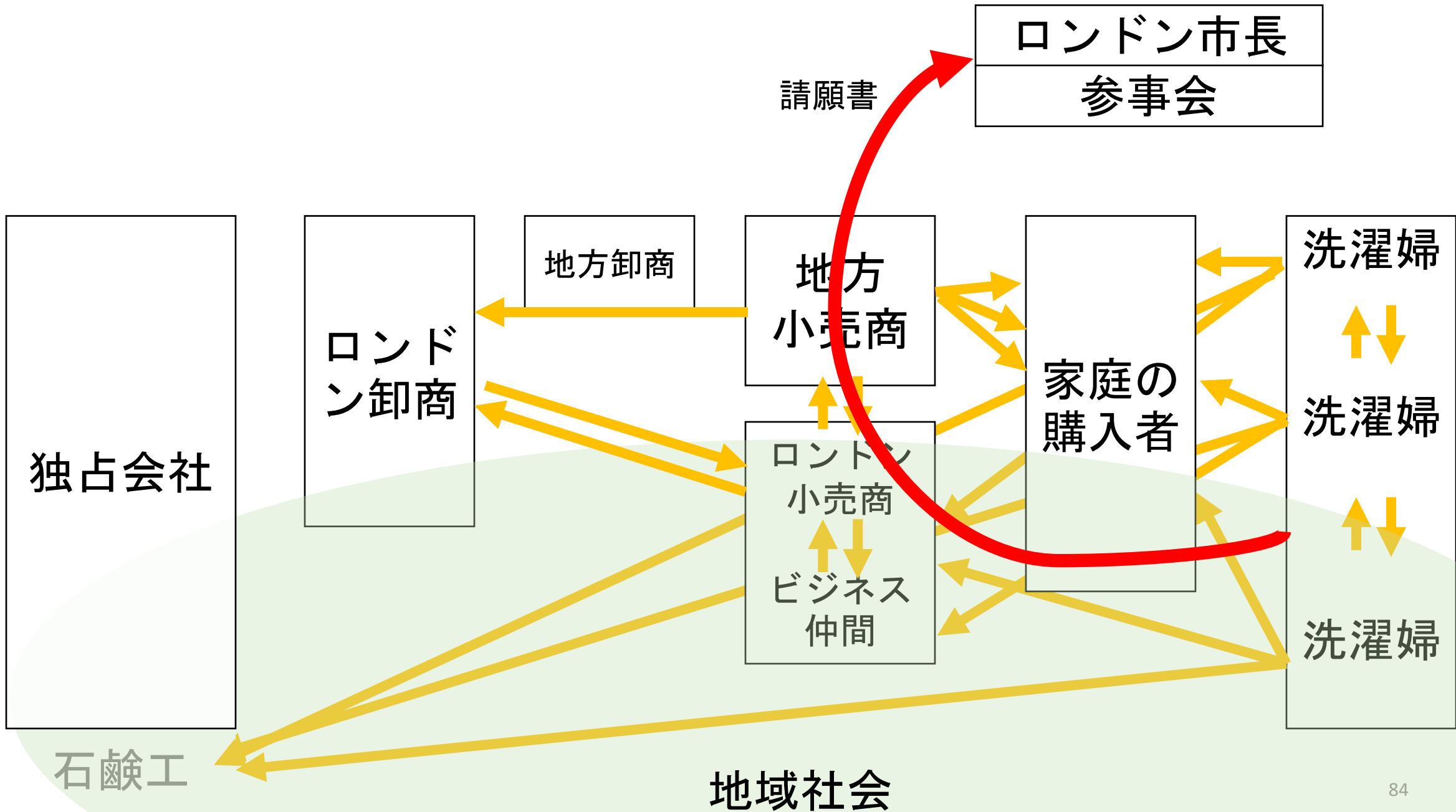
Quarringtonに迫った34年2月当時(スキップ)

- Elizabeth Tuckerは35歳以上
- 遅い結婚をしてから7年
- 息子のJohnは生きていれば2歳2ヶ月
- 夫は水夫のWilliam
- 3年後までには夫を失っており、自らも病気がちで、黒死病で死にゆく患者の看病を頼まれる状態
- その時には洗濯や介護をして日銭を稼ぐものの“little worth”

論点 3 :

重商主義的方針により絶対王政の財政を支えることが期待された新型石鹼への反対署名の背後には、Tuckerのような病気がちで最下層の女性たちがいた。

彼女たちは共通の労働/消費経験をもとに、小売業者Quarringtonに迫り請願書を市長に届けさせた。



論点 4 :

新型石鹼の販売量とその背後にある質的証拠を踏まえるならば、女性たちと男性たちを巻き込んだ行動は、偶発的というよりは消費者・卸業者・小売業者を巻き込んだ「ボイコット」に近いと評価することすらできそうである。

(18世紀イギリス帝国における消費ボイコットの政治性についてはT.H.Breenの研究が詳しい)

大きな問いについて (再訪1/2)

中産階級以下の女性たちの日常生活が、
どのように長距離貿易が拡大する当時の
政治的うねりに影響を受け、またその大きな
流れにどのような影響を与えようとしたか
が明らかになりつつある。

しかしそれだけでは不十分。

想定できる疑問

1. 女性たちも新石鹼に反対する請願書に署名はしている。しかしその抗議には、ある種の権利主張の萌芽のような政治的意識(political consciousness)を認めることができるだろうか。
2. それとも「単に手荒れに困っている」という不満の次元でしかなかったのか。
3. そうならば「近代世界の成立」とは結局それほど関係がないのではないか。

確かに、当時男性たちが主張していたFree-born Englishmen「自由に生まれたイギリス人」という規範と比べられるような主張はしていないように見える。

しかし、それを根拠に女性たちの歴史的意義を「個別的不満」の次元で評価することは、本当に妥当なのだろうか。

ここではジェンダー史の大家スコットと共に考えたい。

ジョーン・W.スコットが指摘した 「女性史」の問題点

ただ女性の存在や活躍を史料レベルで示そうとするだけでは不十分である。なぜなら「新しい事実は過去における女たちの存在を実証するかもしれないが、それは必ずしも女たちの活動に対して与えられる重要度（もしくはその欠如）を変えることにはならなかった」からである。

ジョーン・W.スコット (2022). 30周年版 ジェンダーと歴史学 (荻野美穂 訳). 平凡社. p33.

本研究も同じ危険性に直面。つまり、

大きな問いの再定義 不可視可の実証分析

- ジェンダー史を踏まえても、次のことが判然としない。
 - a) 女性たちの政治行動がそもそも欠如していたから大きな政治への関わりが少ないのか、むしろ
 - b) 女性たちの政治行動があったにもかかわらず、大きな政治への関わりが少ないように見えているだけなのか。
- 女性たちの不可視性そのものが歴史的産物であることを実証できないだろうか。
- 女性たちだけでなく、男性たちの対応を考える。

ではElizabeth Tuckerら女性たちの「声」に、
エリート男性はどう応えたのか？
女性に向けた男性たちの眼差しは
どんなものだったのか、
まずは考えてみよう。

Foyster, *Manhood in Early Modern England* (1999)

‘Most significantly, [women’s] gossip was viewed negatively because of its destructive potential’.

→女性の発言をコントロールできることが男性性にとって重要だった。

著作権の都合により
書影を削除しました。

Foyster Elizabeth
**Manhood in Early Modern England:
Honour. Sex and Marriage**
(Women And Men In History)

洗濯婦についてはどうか？

John Taylor, 'The Praise of Cleane Linnen'
清潔なりネンへの賛歌(1624)

「洗濯婦を尻軽とか「びしょ濡れ売春婦」とか
呼ぶのはやめてさしあげろ。
あいつらが濡れる。お陰でお前は清潔なんだ。」
“Call not your *Laundresse* Slut or slabb’ring queane /
It is her slabb’ring that doth keepe thee cleane”

Richard West, *The Court of Conscience, or
Dick Whippers Sessions* (1607), [sig. f]

お前たちは水汲み場や...洗い場で日々集まっては
、身の程に合わない人物や事どもについて鉄面皮
で語り合うのだ。

"You that at Conduicts, and such other places, / The
ale-house, bake-house, or the washing block / Meet
daily, talking with your brazen faces, / Of peoples
matters which concerne you not"

こうした紋切り型を再生産するような形で、市長の対応（の欠如）についてエリート男性の間で噂が広がっていた。

下院議員経験を持つGeorge Garrardから、アイ ルランド滞在中のストラッフォード伯爵へ

- 「王の命令により、**ロンドン市長**はこの[石鹼]事業における「臆病」
を咎める**嚴重注意を受けました**。New soapに**反対の嘆願書を送った女
性の一群におしげづいていた**、というのがその理由です。」
- ‘The Lord Mayor of *London* [Ralph Freeman] by the King’s Commandment
received a shrewd Reprimand for his
in this Business, being afraid of a Troop of Women that clamorously
petitioned him against the new Soap.’

George Garrard to Thomas Wentworth, 9 Jan. 1633/4
Knowler (ed.), *The Earl of Strafforde's Letters and Dispatches*, vol. 1, p. 176

- 「市長は宮廷に呼び出され... 片手落ちな仕事ぶりを手厳しく批判」された。

BL, Harley 7000, fol. 353-353v, Edmund Rossingham to Sir Thomas Puckering

レターライター—Edmund Rossinghamから Warwickに住むThomas Puckeringへ

- 枢密院のメンバーは、new soapに口汚く反対したとかどで、テムズ側南岸に位置するサゾクの女性を召喚する令状を発行しました。呼び出された彼女は、厳しく叱責され、その後退出させられたようです。
- Privy Councillors issued a warrant 'to bring a poore woman out of Southwarke before them, for speakeing invectively ag[ain]st the new sope, I thinke she was well chidden, so desmist'.

つまり、エリート男性たちは、貧しい女性たちの声に耳を傾けなかったようだ。

さらに、

レターライター—Edmund Rossinghamの手紙

- エリート男性たちは、手荒れが起こってるという事実を認めてはいたが、その原因については反対者による「異物混入」の可能性を疑っていた。（ルバーブのエキスや白ワイン）
- ‘some alleadge that by puting into a barrell [of sope?] a small quantity of Rubarbe, or a glasse of sack, either will make that barrell of sope unserviceable’.

しかも、Rossinghamによれば、Westminster会
社の一員は王妃ヘンリエッタ・マリア付きの
洗濯婦Bridget Sandersonらを味方につけてnew
soapの品質について証言をさせていた。
しかし、、、

虚偽の証言

「実際には、New Soapの品質にお墨付きを与えた女性のほとんどが、new soapではなくスペイン産の固形石鹼で洗濯をさせているのです。」

“but she [Sanders] tells her ma[jes]tie she dares not wash her linen, with any other but Castle sope [スペイン産固形石鹼] and the truth is, that most of those Ladies that have subscribed, have all of them their linnen washt with Castle sope, and not with this new sope”

- 31 December 1633. E[dmund] R[ossingham] to Sir Thomas Puckering. BL, Harley 7000, fol. 352-352v.

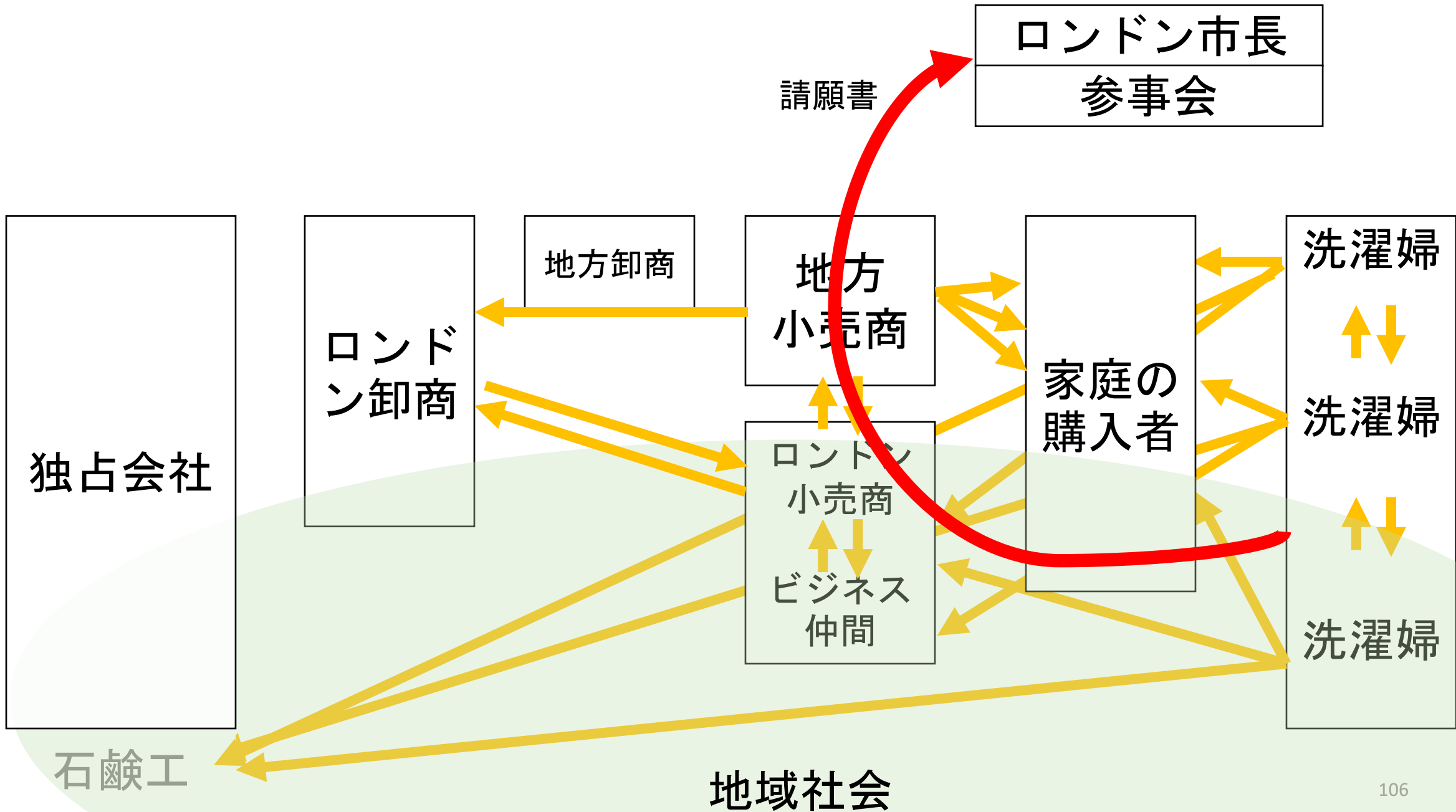
男たちがわざと嘘の証言をさせたのか、それとも女性達側が忖度し期待されている応答をしたのか、この手紙からは判断できないが、次の点を結論することはできる。

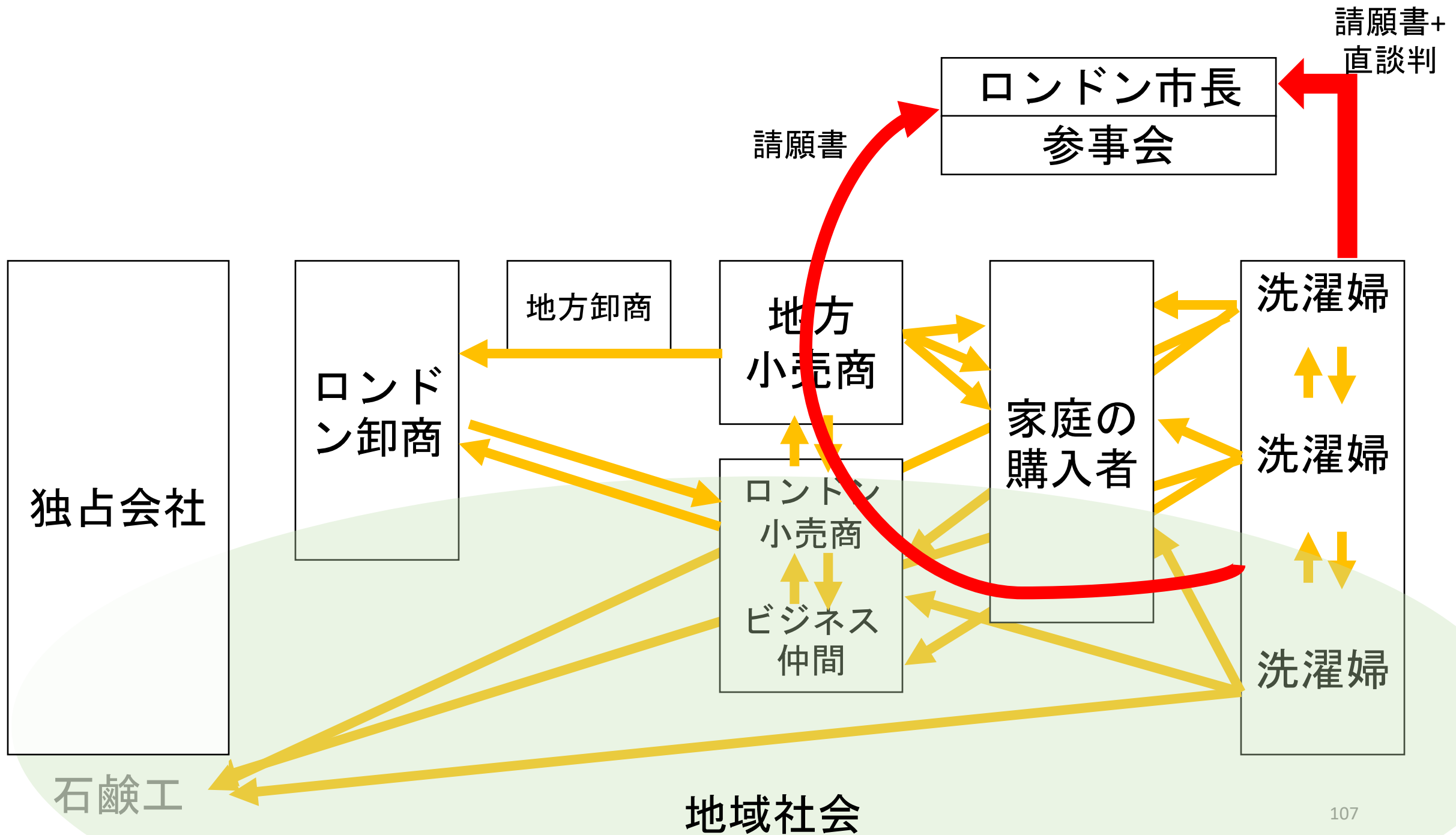
論点 5 :

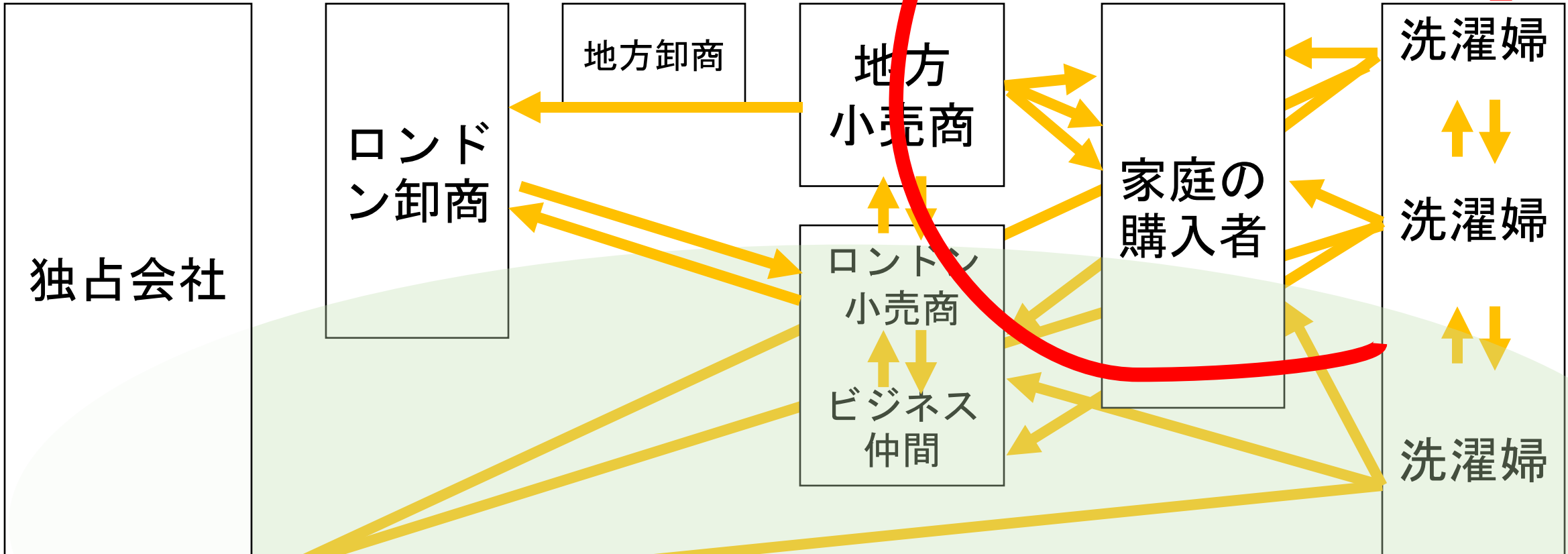
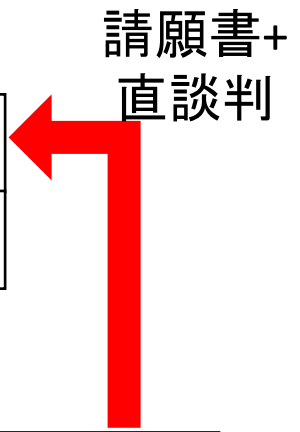
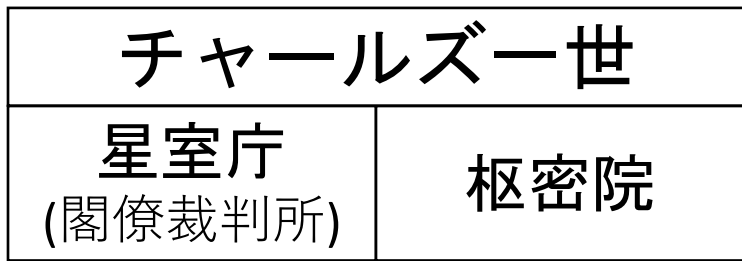
絶対王政下の経済・財政政策を支えた
エリート男性にとって、都合の悪いことを言う
貧しい女性たちの証言は
聴くに値しないものだったし、
また、政権側の恵まれた女性たちにも、
結果として国策に都合の良いストーリーを
語らせることになった。

どちらの場合も、
「女たちの言葉など信用に値しない」という
現代まで続く紋切り型が
女性の言葉にあてはめられている。

結果として、new soapの品質についての真相は、
噂話においては見え隠れしたものの、
エリート男性によって政策に活かされることは
なかった。



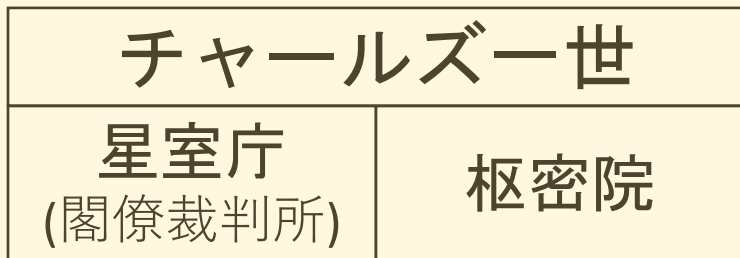




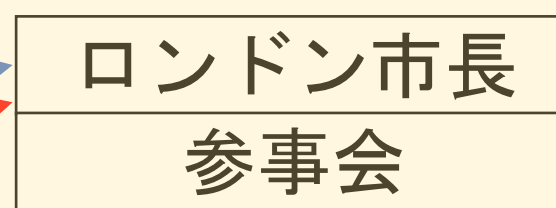
石鹼工

地域社会

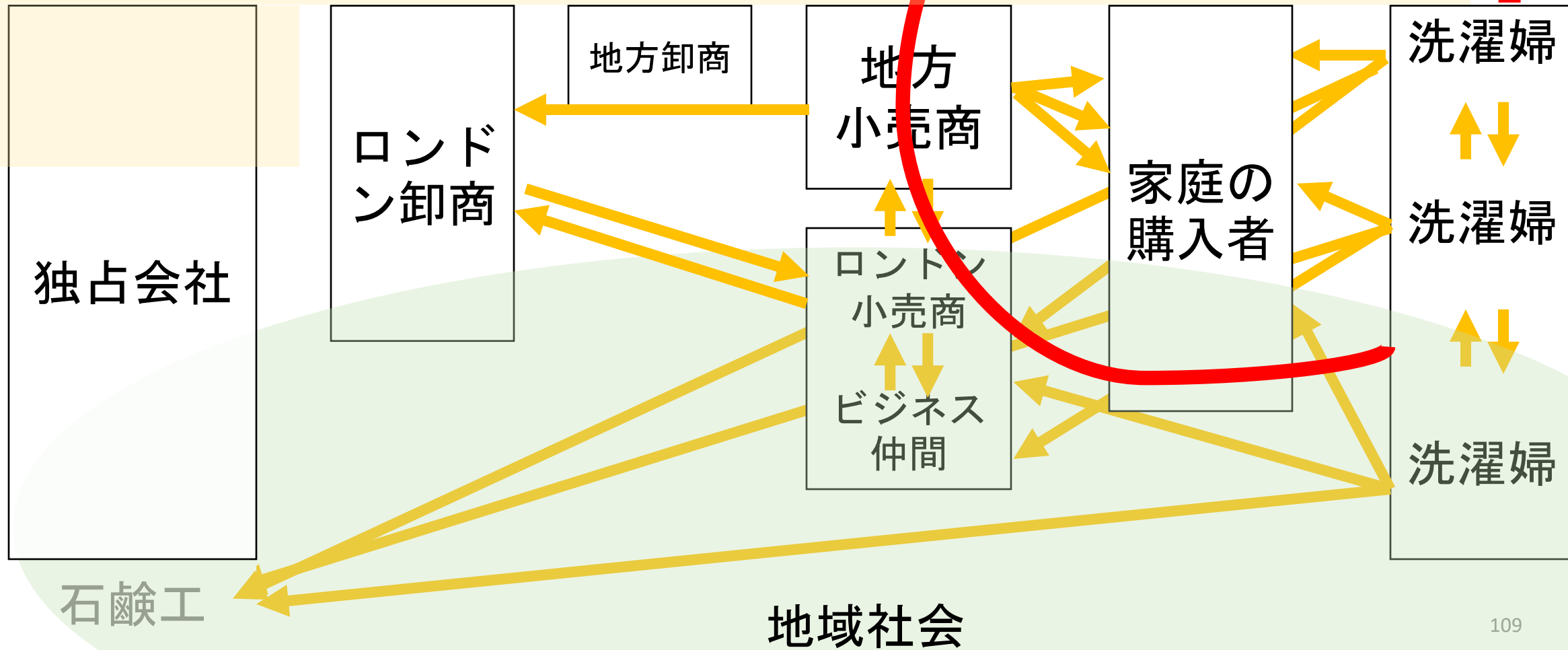
エリート男性
の噂話



「臆病者!」



請願書+
直談判



Quarrington のような小売業者からある程度
独立して洗濯婦たちが市長にプレッシャーを
かけたのであれば、それは肉体労働に
身を投じた貧しい女性たちの
驚くべき自立性と影響力を示している。

もしQuarringtonのような小売業者が洗濯婦たちの協力を取り付けて女性を前面に出してプレッシャーをかけたのであれば、作戦は成功。

エリート男性たちは「怒れる女性たちの群れも恐れずに国策を実行するのが為政者」「それができないのは臆病」というジェンダー規範に基づいて洗濯婦と小売業者の巧みな協力関係をベースにした事実上のボイコットを盛大に「誤読」したことになる。

1634年以降、独占の強化が進む中
消費者としての女性たちの
new soap拒絶という事実は、
独占に反対する男性たちによって、
より大きなグローバルな論点と
組み合わせられて提示されていく。

1632年 1月	ウェストミンスター石鹼会社の設立。New soapの製造権、同業者の石鹼の品質監督権を取得
同6月	枢密院が石鹼工たちの鯨油の利用を禁じる勅令を発出 (Old soapの実質的生産禁止)
同11月	Star Chamber (星室裁判所)、ロンドンの石鹼工16人が鯨油利用で訴えられる
1633年	石鹼工は投獄され、うち2名が死亡。各自£500-£1500の罰金
1634-1636年	販売目的でない石鹼製造も禁止、廷吏や巡査を伴った工場の強制捜査や、用具の没収・破壊を認める勅令
1637年	石鹼工を配下に加えて「ロンドン石鹼会社」をリローンチ。結局鯨油を使ったOld Soapの生産を独占下で再開するも価格は高騰。
1639-40年	スコットランドと主教戦争が勃発。財政難により11年ぶりの議会招集が不可避に。
1640年 11月	長期議会発足。The Grand Remonstrances (大諫奏)で石鹼などの独占の違法性が批判される。

独占が実際に執行され、反対するものが投獄される中で、さまざまな団体が嘆願書を提出した。

以下の論点のいくつかを強調することがほとんど。

72.



Reasons conceived by the Company of Merchants of England for discovery of new
trade remonstrating the great benefits that the fishings voyages to Greenland
willd King James six hand doe benefit to the Kingdom: since the first
January thereof

The first discovery was about 80 years since in the ^{latter} reign of King Henry and Queen Mary made
by Sir Hugh Willoughby who was set forth as the chief of the company at which time was discovered
the trade into Russia by the voyage of 2 barbares in Russia and although in the discovery of this
discovery of Greenland many endeavours were made for divers yeeres together and some
to saile North yet by the blessing of god this discovery remaineth to be perfected about the 7th yeere of
our late glorious Kings James 6th blessed memory intended possession of this country for his Ma^{ty}
and his successors and named it King James six hand.

And our two gracious Kings being well informed of the sundry great discovery thereof brought to
this Kingdom were very zealous to support and direct the whole fishing voyage to those parts
and in the 13th yeere of his most happy reign our said King James the sixth sent
of England for the sake of fishings and furnished the voyage thereof unto them with this hande
and directed all such vessels and of a very great charge, a fleet of about 1000 by these of the
Netherlands who did in divers manners attempt to gain the dominion of this country but were
opposed by the company which doe still maintain that a great charge although they send out
to this purpose yet receive from the duties of the fishings returned by them.

The Company have beene at this time to have sent a fleet of 4 shippes for the whole fishing to the
quantity of 1200 men or more
And besides the employment of the shippes they doe require 1000 men at the least for the voyage the
voyage beinge longer landward they would that there was sent as full as hand and not to send into the
mouth of the water and whither is directed for and the said vessel after a voyage or two
be sent and maintained for the service of year 1634 for other voyages into the said parts.

The provisions for the voyage shall be furnished for the whole the duties and other matters shall
be made in the Kingdom as long as they will the charge of the voyage to be and charged upon the shippes
and for the most part to be borne by the men and want labourment beinge the best means of getting
the most profit.

The whole voyage that is proposed every yeere is no longer at the least as by a medium of 8 vessels
will suffice and it is a natural commodity growing in the Kings most hand and land the fishings
shall be made to the most profit with any other fishings which before this time hath beene
made a voyage into the said parts beinge out of Ireland.

It will be good to have a vessel at which is sent to the coast of France in case of any vessel and because
most profitable in the north coast where one vessel may be sent into the coast of the
Greenland
of the coast.

May it please your Ma^{ty} that the voyage made by the said shippes and men
this is conceived to be the best of all the said shippes and men
Besides the shippes provided and stored with the want of other and other shippes this doe manifestly
appear in the report of the shippes last yeere that the whole fishings yielded in Greenland the want of the shippes
had caused to be the best and rewarded and sent into the said parts the want of the shippes
follow in heretofore downe the coast to the said parts and sent into the said parts but since the discovery of
the said shippes and men made with other vessels it is more to be desired in a desire of men which accordingly
The whole benefit brought from Greenland is more to be desired in quantity as they have sent to that it
is a commodity of great use in the Kingdom for the most part furnished by the Company and
many other shippes of diverse many years receive in the north coast by the Company which furnished
and have not other shippes to get that fishings.

Reasons conceived by the Company of Merchants of England for discovery of New Trades remonstrating the great benefits that the fishing voyages to Greenland [1634?]

嘆願書

1. 品質の問題（白さ・匂い・洗浄力・生地への影響・手荒れの組み合わせ）
2. ロンドン市中においては労働の自由が認められている。
3. 石鹼工達はロンドン市民の諸権利を認められたFreemenである。
4. 鯨油を原材料として使用することを禁止することのは貿易・外交上の不利益を生む。
5. 特に（鯨油の輸入を行う）グリーンランドやNewfoundlandとの交易に不利益が生じる。
6. 外国産炭酸カリウムの使用を禁止すると輸入元であるバルト海沿岸地域との交易にも悪影響がでる
7. New Soapを製造しているウェストミンスター会社は独占であり、1624年の独占禁止法(Statute of Monopolies)に反する。

嘆願書

1. 品質の問題 (白さ・匂い・洗浄力・生地への影響・手荒れの組み合わせ)
2. ロンドン市中においては労働の自由が認められている。
3. 石鹼工達はロンドン市民の諸権利を認められたFreemenである。
4. 鯨油を原材料として使用することを禁止することのは貿易・外交上の不利益を生む。
5. 特に（鯨油の輸入を行う）グリーンランドやNewfoundlandとの交易に不利益が生じる。
6. 外国産炭酸カリウムの使用を禁止すると輸入元であるバルト海沿岸地域との交易にも悪影響がでる
7. New Soapを製造しているウェストミンスター会社は独占であり、1624年の独占禁止法(Statute of Monopolies)に反する。

1641年、長期議会在が招集している際、石鹼独占による圧政を詳細に記録したパンフレットが出版された。その中にも女性たちへの言及は一切なかった。

A 6
SHORT
AND TRUE
RELATION

concerning the Soap-buſines.

Containing the ſeverall Patents,
Proclamations, Orders, whereby the Soape-
makers of *London*, and other His Majesties
Subjects, were damnified, by the Gentlemen
that were the Patentees for Soape at West-
minster, with the particular Proceed-
ings concerning the ſame.



LONDON,
Printed for *Nicholas Bourne* at the South entrance
of the *Royall Exchange*. 1641.

論点 6 :

独占により不利益を被った男性たちは、嘆願書においてnew soapの低品質に着目することで独占が生み出す負のサイクルを指摘し、独占政策の違法性を問題にした。しかし、女性たちの声自体を紹介することはなかった。

当事者が残したエビデンスがない中でタッカーのような貧しい女性の「政治的な主張」に肉薄するのは難しい。

➔エビデンスの提示に執着するならば、想像力を働かせて残された史料を読むしかない。

1635/6年1月23日

William Laud to Thomas Wentworth

- 「[新] 石鹼についてだが、綺麗なりネンには使いすぎないようにお願いしたい。

[新石鹼は] それが洗うリネンよりもはるかに汚いと言われているので。」

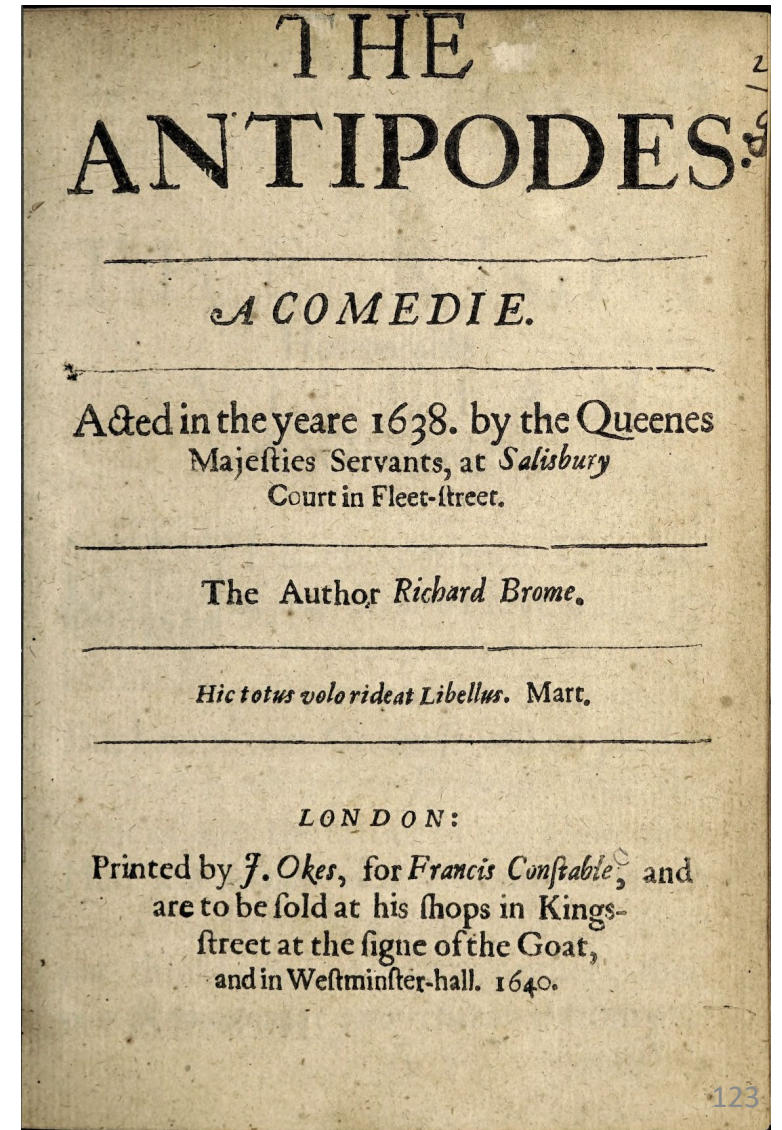
‘fouler a great deal than the linen it washes’

「それが洗うリネンよりもはるかに汚い」 新石鹼

1. **Fouler** – 製品の品質の悪さを指摘 – 洗濯をする女性の直接的な経験に基づいているはず
2. **Fouler than the linen** 「汚れたりリネンよりさらに汚い石鹼」 → お粗末な政策とその推進者への批判を仮託
3. 石鹼 - 清らかさの象徴が不浄と腐敗の象徴に反転
→ 当時広く流布した「反転」 **inversion** と類似。
例：悪徳を隠す見せかけの美德、偽善を覆い隠す信心深いそぶり (Scribner; Clark; Orwellian New Speak)

リチャード・ブロームの劇 *Antipodes* (perf. 1636)

1. 判事は、法と秩序の名のもとに不正を行っている。
2. Cf: 商人は必需品を買い占めて値段を釣り上げることで、豊かさではなく欠乏と飢餓を広めている。



ホッブズ『リヴァイアサン』 第17章87頁

「ある人々は他者に対して、
良きことを悪しきことのように、
悪しきことを良きことのように示す。・・・[そして]
人々に不満を抱かせ、思うが
ままに平和を乱す」



- 新石鹼に関する前出のコメントが洗濯をしている女性から発されたものであるなら、彼女たちの主張は彼女たちの手仕事と身体的な苦痛に独自に基づいている
- 「汚い」 / **fouler** という単語の重要性

- 「汚い空気」や「汚い石鹼」などは、健康にとって害になると考えられた
- 新石鹼に不利な発言は、女性たちの肉体労働とそれに伴う害に基づく物理的・身体的な基礎を有していた- 現在ではILOにより「労働安全衛生」(occupational safety and health)として定義される分野

結論: 洗濯婦の「政治思想」

- カンタベリ大主教が名前と呼ぶことも気にならなかった人々ー「彼女ら」はチャールズ1世によって促進されていた最も重要な国内商業政策の一つを公然と非難した
- 彼女らの主張は身体的な苦しみと労働安全衛生が害されていることに立脚し、社会階層を超えて広く親しまれ、リチャード・ブロームとトマス・ホップズによって深く議論された反転のイメージの枠組みに当てはめられた。

結論：不可視化された女たち

- 洗濯婦たちの主張は記録されたり、「労働者の権利」のようなフレームで語られることはなかった。
- 彼女たちの貢献と主体性は、男性の石炭工たちが彼らの権利を憲法の舞台に上らせようとしていた丁度そのとき、「女どもの不平」と書き捨てられた。
- 洗濯婦の思想史がこれまで書かれてこなかったのは、これらの貧しい女性たちが王国の政策を判断する力がなかったからではない。

認識論的不正としての 歴史の不在

「洗濯婦の政治思想」が記録されず、発展もしなかった最も有力な原因は、ミランダ・フリッカーが「認識論的不正」と呼ぶものに起因すると考えられる。1) 発言内容が、発話者の属性のせいで信頼できないと見做されてしまうこと (**testimonial injustice**)、2) 特定のグループの経験が、適切な言葉や概念を与えられずに「ぼやかされて」しまうこと (**hermeneutic marginalization**) である。

著作権の都合により
書影を削除しました。

Miranda Fricker

Epistemic Injustice

Power and the Ethics of Knowing

政治史・思想史を「ジェンダー化」する

- 一部の女性が実際に書き得たもののみに注目するべきではない
 - 女性たちが書けたかもしれないが書けなかったことを検証することも大切
 - 「社会的に引き起こされた無知」や「知の不確実性」の研究と並行するような種類の分析
- ➔ ロンダ・Schiebingerやロバート・プロクターが「無知学」と呼んだもの

Epistemic injusticeの社会史的研究

少数派の経験が覆い隠され、全く異なるものに書き換えられてしまうような日常的なやり取りについての歴史的研究

イントロ

品質

抵抗

聴かない男

結論